

二所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

實地犯シタル罪ガ教唆シタル罪ヨリモ輕キ時ハ其現在實地ニ犯ス所ノ罪ニ從ヒ其罪相當ノ刑ヲ教唆者ニ申付ルナリ例ヘハ何某ヲ打擲シテ疵負ハセヨト勸メタルニ打擲ハセスシテ罵詈シタル時ハ教唆者モ罵詈ノ刑ニ行フ類ナリ

第二節 從犯 凡二條

從犯トハ犯罪ノ實地ニハ手ヲ下サズ人ノ犯スニ夫レトナク手傳フタル者ヲ謂フ

第百九條 重罪輕罪ヲ犯スヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等

ヲ減ス但正犯現ニ行フ所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ止タ其知ル所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ス

人ノ重罪カ輕罪ヲ犯ストイフヲ知リツ、夫レニ入用ノ道具ヲ與フル例ヘハ貨幣ヲ偽造スルヲ知リテ夫レニ用ル器械ヲ貸シ強盜ヲ働クト知リテ刀カ鉄砲ナド貸シ遣ハシ竊盜ヲ働クト知リテ梯子ヤ鋸ナド與ヘ人ヲ殺スト知リテ毒藥ヲ盛り遣ハス類又ハ誘導トテ戸口ノ掛金ヲ外ヅシ門ノ扉ヲ開キナドシテ盜人ノ手引ヲ爲ス類指示トテ貨幣偽造ノ仕方強竊盜ノ出入口并ニ金錢ノ在リ所ヲ知ラズ類其他豫備ノ所爲トテ竊盜ニ入ルベキ宅ノ家内ノ人ヲ外ヘ連レ出シ殺害サルベキ人ヲ其事ノ爲シ易キ場所ニ連レ出スナド總テ罪ヲ犯ス支度ノ仕業ヲ以テ正犯ヲ幫助ケ其犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト



爲シ正犯ノ刑ヨリ一段ヲ輕クスルナリ併シ正犯ノ現在  
行フタル罪ガ從犯ノ前方承知スル者ヨリ重キ時ハ唯其  
承知ダケノ罪ニ引合セ夫レヨリ一段輕ク罰スルナリ  
本文モ唯重罪輕罪トノミアツテ違警罪ノ事ヲ言ハズ故  
ニ違警罪ハ唯正犯ノミチ罰シテ從犯ハ罰セヌ者ナリ

第一百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯ト爲ル時

ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス  
正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ從犯ノ刑  
ハ其輕キニ從テ減免スルヲ得ス

此條ハ第百六條ト同趣意ニ出タル規則ニテ彼條ハ正犯  
ニ就テ從犯ノ事ヲ云ヒ此條ハ從犯ニ就テ正犯ノ事ヲ云  
ヒ兩條トモニ正犯從犯ノ身分ニ因テ其刑ヲ加減スル時  
ト雖モ身分ヲ異ニスル他ノ仲間ニハ之ヲ及ホスヲ許

サヌ旨ヲ定ムル者ナリ

身分ニ因リ刑ヲ加重スヘキモノ例ヘハ子タル身分ニテ  
其親ヲ打擲シ疵ヲ負ハセタル類ニ因テ常人ヨリ二段重  
ク罰スヘキ者ガ其犯罪ノ從犯ナル時ハ其親ニ對シテ他  
人タル身分ヲ持テル正犯ノ受クヘキ刑ニ從テハ減セズ  
矢張其身分ニ因テ重カルヘキ刑ニ從ヒ夫レヨリ一段輕  
ク罰スルナリ

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免スル例ヘハ子タル身分ニテ  
其親ノ金錢ヲ盜ミタル類ハ法律上無罪ナルユヘ之ヲ放  
免スル時ト云ヘ其親ニ對シテ他人タル身分ヲ持テル  
從犯ノ刑ハ其輕キ減免ニ從テ此レヲモ放免スルヲ許サ  
ズ矢張竊盜ナレハ竊盜相當ノ刑ニ行フナリ

第九章 未遂犯罪 凡三條

未遂犯罪



未遂犯罪トハ罪ヲ犯サンコトヲ企テ又ハ罪ヲ犯シテマ  
ダ其事ヲ仕遂ケヌ者ヲ謂フ

第百十一條 罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト  
雖モ未ダ其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載ス  
ルニ非サレハ其刑ヲ科セス

此條ハ唯罪ヲ犯サンコトヲ企テタルノミニテ、マダ其支度  
ニモ取掛ラヌモノ并ニ其支度ニハ取掛リテモ、マダ其事  
ヲ行ヒ始メヌ者ノ規則ヲ定ムルナリ  
罪ヲ犯サンコトヲ企テタルノミニテ、マダ其支度ニモ取掛  
ラヌモノ又ハ其支度ニハ取掛リテモ、マダ其事ヲ行ヒ始  
メヌ者ハ第二編以下ノ箇條ニ於テ別段之ヲ罰ストイフ  
刑名ノ書載セアルモノナラデハ其刑ハ申付ケヌナリ其  
箇條トハ第百二十五條(兵隊ヲ召募シ又ハ兵器金穀ヲ準

備シ其他内亂ノ豫備ヲ爲シタル者并ニ内亂ノ陰謀ヲ爲  
シ未ダ豫備ニ至ラヌ者ノ刑名アリ(第百三十三條(外國ニ  
對シ私ニ戰端ヲ開カントシ其豫備ニ止ル者)第百八十六  
條(貨幣偽造ノ器械ヲ豫備シテ未ダ着手セヌ者)等ヲ云フ)  
諸此條ノ規則ニ依リハ竊盜セントテ梯子ヤ鋸ナド持出  
シ人ヲ殺サントテ刀ヤ銃砲ナド所持シ付火セントテ摺  
付木ナド携ヒ用意ハ充分ニ整ヒタリト、マダ人家ニ入ツ  
テ物ヲ盜マズ刃物ヲ以テ人ノ切付ケズ摺付木ニテ人家  
ヲ燒キ始メヌ間ハ其罪ヲ問フコトハナキ者ナリ其譯ハ實  
地行ヒ始メヌ間ハ假令ヒ其道具ハアルトモ之ヲ以テ慥カ  
ニ其罪ヲ定ムルハ難ク又斯カル薄キ證據ニテハ本人ト  
テモ容易ニ服罪スヘシモアラズ假令ヒ本人ハ慥カニ其  
犯罪ノ支度ナリト申立ルモ是レハ人情外ノ自狀ニテ普



通ノ常法ト爲スヨ足ラテ本條刑名アル者ノ外ハ一切  
其刑ハ申付ケヌナリ

第一百十二條 罪ヲ犯サントシテ己ニ其事ヲ行フト雖モ  
犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ未タ遂ケサル時ハ  
己ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

此條ハ最早其事ヲ行ヒ始メタルニ故障カ間違ニ因テ仕  
損シタル者ノ規則ヲ定ムルナリ  
罪ヲ犯サントシテ早ヤ其惡事ヲ行ヒ始メト云ヘル犯人  
カ思ヒ寄ラヌ障礙カ舛錯ニ因テ圖ラズ其事ヲ仕遂ケヌ  
時ハ早ヤ仕遂ケタル者ノ刑ニ一段カ二段減シテ罰スル  
ナリ障礙ニ因テ仕遂ケヌトハ例ヘハ人家ニ入テ品物ヲ  
盜ニ出シタルニ人ニ見咎メテ其品ヲ取得ズ人ヲ殺  
サントテ之ニ切付ケタルニ後ロユリ抱キ止メラレタル

ガ爲メニ疵ノミ負ハセテ殺シ得ズ火付シタルニ人ノ消  
止メオルガ爲メニ其家ヲ燒キ損シタル類ヲ云舛錯ニ因  
テ仕遂ケヌトハ例ヘハ火付シタルニ火ガ消エテ燃ヘズ  
毒藥ヲ飲セタルニ其藥ノ調合ガ不充分ニテ飲ミタル人  
ガ死ナヌ類ヲ云フ

第一百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ前  
條ノ例ニ照シテ處斷ス

前條ハ未遂犯罪ニ付大體ノ規則ヲ定メ此條ハ之ヲ當テ  
用ル區別ヲ定ムルナリ  
重罪ヲ犯サントシテ早ヤ其惡事ヲ行ヒ始メタルハ犯人  
ガ思ヒ寄ラヌ障礙舛錯ニテ、マダ其事ヲ仕遂ケヌ者ハ前  
條ノ例ニ引合セテ早ヤ仕遂ケタル者ノ刑ニ一段カ二段  
減シテ罰スルナリ  
輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載



スルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルコトヲ得ス  
 輕罪ハ重罪ト同例ニハ行ヒ難キユヘ之ヲ犯サントモテ、  
 マダ其事ヲ仕遂ケヌ者ハ第二編以下ノ箇條ニ別段書載  
 アル者ナラデハ前條ノ例ニ引合セテ處斷スルコトハナラ  
 スナリ其箇條トハ第百二十四條第百四十九條第百五十  
 九條第百七十條第百九十七條第百六十六條  
 第三百七十五條第百九十七條ヲ云フ  
 違警罪ヲ犯サントシ未ダ遂ケサル者ハ其罪ヲ論セズ  
 違警罪ハ至テ輕微ノ惡事ユヘ、マダ仕遂ケヌ者ハ構ハヌ  
 ナリ

第十章 親屬例 凡二條

親屬トハ親類ヲ謂フ唯親屬トノミヨテハ何々ヲ指ス  
 者カ分明ナラヌユヘ此章ニテ刑法中親屬ノ稱例ヲ解

少者ナリ

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シ

- タル者ヲ云フ
- 一 祖父母及母夫妻  
一祖父母及母夫妻
- 二 子孫及ヒ其配偶者  
其配偶者トハ子孫ノ夫カ妻
- 三 兄弟姊妹及ヒ其配偶者  
兄弟姊妹ノ子トハ
- 四 兄弟姊妹ノ子及ヒ其配偶者  
兄弟姊妹ノ子トハ
- 五 父母ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者  
父母ノ兄弟姊妹トハ
- 六 父母ノ兄弟姊妹ノ子  
即チ從父兄弟姊妹ヲ云フ
- 七 配偶者ノ祖父母父母  
即チ夫カ妻ノ祖父母父母ヲ
- 八 配偶者ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者  
其トハ兄弟姊妹ヲ
- 九 配偶者ノ兄弟姊妹ノ子  
即チ夫カ妻ノ姪ヲ云フ
- 十 配偶者ノ父母ノ兄弟姊妹  
即チ夫カ妻ノ伯叔父



第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同  
 シ父母ト稱スルハ繼父母嫡母同ヤシガイヤシバ、ヒラガイヒイバ、ハ、カクノヤシバ、子孫ト稱スルハ庶  
 子曾玄孫外孫同ヒラガイヒイバ、ヒラガイヒイバ、ヒラガイヒイバ、兄弟姊妹ト稱スルハ異父異母ノ兄  
 弟姊妹同ヒラガイヒイバ、ヒラガイヒイバ、ヒラガイヒイバ、

養子其養家ニ於ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ

嫡母トハ妻ニアラヌ女ノ生ミタル子ヨリ父ノ妻ヲ呼ブ  
 稱ナリ庶子トハ妻ヨリ右ノ子ヲ呼ブ稱ナリ此兩條親屬  
 ノ例ハ舊法ト其稱呼ノ文字ヲ異ニセシヨリ遠カニ讀ミ  
 過レハ大ニ改正シタルガ如クナレハ細カニ比較スルト  
 キハ左迄大異ト云フニアラス唯舊法ノ妾兄弟ノ孫從父  
 兄弟ノ子ノ三項ヲ除キ新クニ配偶者ノ兄弟姊妹ノ配偶  
 者、配偶者ノ兄弟姊妹ノ子ノ二項ヲ加ヘ配偶者就中夫ノ  
 妻ニ對スル關係ヲ重クシ舊ノ親等ヲ廢シタルナリ、サレ

且妾ヲ除キテ妻ノ關係ヲ重クシタルハ亦刑法ノ一進步  
 ト謂フベキカ

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪凡九章 百七十六條

此編以下ハ刑法ノ懲罰スベキ世間モ、ハ、ノ惡事ヲ  
 逐一ニ書載セ何々ノ惡事アル者ハ何々ノ刑罰ヲ申付  
 ルト明カニ罪ト刑トヲ定ムル者ナリ前編總則中ニ  
 度々本條ト見エタルハ即チ此編以下ノ箇條ヲ謂フ  
 公益トハ公衆ノ利益トテ一人ヤ二人ノ爲筋デナシ世  
 間一體ニ係ル爲筋ヲ謂フ此爲筋ニ付害トナルベキ惡  
 事ハ重罪輕罪ノ差別ナシ皆此部中ニ掲グルナリ部中  
 九章ニ分レ其日ハ皇室ニ對スル罪、國事ニ關スル罪、靜  
 謐ヲ害スル罪、信用ヲ害スル罪、健康ヲ害スル罪、風俗ヲ  
 害スル罪、死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪、商業及



ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪官吏瀆職ノ罪トス  
諸前編ニ於テ先ツ總則ヲ掲ゲタレバ此編ハ唯重罪ノ  
ミチ掲ゲ以下二編ニ輕罪違警罪ト順々ニ掲ゲ到ルガ  
至當ナルベキニ左ハセズ其罪ノ性質ニ因テ重罪輕罪  
ヲ雜記スル譯ハ世間罪トナル惡事ノ多キ斯クセズテ  
ハ却テ法律上ノ簡明ヲ損スレバナリ

第一章 皇室ニ對スル罪凡五條

皇室トハ天子ノ御一家ヲ謂フ對スル罪トハソレニ向  
ツテ犯シ奉ル罪ヲ謂フ此罪ハ此刑法ノ撰定前ハ何レノ  
法律ニモ至尊ヲ憚リテ明カニ書載セヌコトナリシガ既  
ニ總則第二條ニ於テ法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲  
ト雖モ之ヲ罰スルコトヲ得スト法律ノ人ヲ罰スル權力  
ヲ限リタルウヘハ假令ヒ至尊ニハ憚リアルモ又斯際

ノ現惡人ハ絶エテ之ヲナカルベシトスルモ之ヲ載セ  
テハ刑法ノ組立戒ラズ又萬ガ一ニ犯人アリテモ之ヲ  
罰スルコトノ出來ル故ニ此刑法ニテ始メテ正條ヲ設  
ケル者ナリ且又我國ハ皇統連綿ノ御國柄ナレバ皇室  
ニ對シテ罪ヲ犯スル國家ニ取リ誠ニ容易ナラズ惡事  
ヲシテ之レヲ公益犯罪ノ首ニ掲ゲテ皇室尊嚴ノ意ヲ  
示スナリサレバ之レニ對シテ危害不敬ナド加フル者  
ハ元來國事犯ナルト常事犯ナルトニ拘ハラズ總テ此  
章ニ依ル者ナルベシ併シ唯其廢立ヲ謀リ皇嗣ノ順序  
ヲ紊スナド專ラ政治上ノ目的ヨリ出ル罪ハ無論次章  
ニ依テ問ハルベシ

第一百十六條 天皇皇后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加  
ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス



天皇トハ時ノ天子ハ勿論太上天皇ヲモ含ムナリ三后ト  
 ハ太皇太后トテ時ノ天子ノ皇祖母、皇太后トテ其皇母、并  
 皇太后トテ其御配偶者ヲ云フ皇太子トハ御世嗣ヲ云フ  
 此他皇子皇女皇孫并ニ皇太子ノ妃ガタハ第百十八條皇  
 族トイフ部中ニ入ルナリ  
 此條ノ意ハ右ノ御方々ニ對シ弑殺毆打脅迫其他總テ玉  
 體ニアブナキ兇害ヲ仕向ケ奉リ又ハ仕向ケントシタル  
 者ハ其事ノ政治上ニ關スルト否トニ拘ハラズ孰レモ死  
 刑ニ行フトナリ斯ク既遂未遂ヲ同刑ニ行フハ甚ダ鈞合  
 ナ得ヌヤウナレト左ニアラズ抑モ天子ハ國家ノ最上位  
 ニ立タセラル、御身分ナルノミナラス皇統連綿ノ我國  
 ニ於テハ之ニ向ツテ危害ヲ加ヘ奉ルハ假令ヒマダ其事  
 ハ仕遂ケヌモ最早死刑ダケノ重罪アル者トシテ之ニ行

ヒ早ヤ其事ヲ遂ケタル者ハ無論仍ホ嚴刑ニ行フヘキ筈  
 ナレト死刑ノ上ニハ刑罰ナキユエ余儀ナク同刑ニ行フ  
 ハ此條制定ノ趣意ナルベケレバ其趣意ニ依テ考フルハ  
 ハ聊カ不鈞合ハナキ者ナリ

第百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者  
 ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百  
 圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者亦同シ

玉體ヲ害ヒ奉ル存意コテハナク唯天皇三后皇太子ニ向  
 ツテ尊敬スヘキ大禮ヲ破リ不埒ノ所行ニ及ブモノ例ヘ  
 ハ行幸ノ御途中ニテ殊更惡口ヲナシ或ハ容貌ヲ以テ侮  
 辱シ奉リ其他御前ニアラヌモ衆人ノ前ニ於テ殊更侮辱  
 誹毀ノ振舞アル者ハ三箇月以上五箇年以下ノ範圍ヲ出



テ又重禁錮ニ行ヒ二十圓以上二百圓以下ノ範圍ヲ出ス  
又罰金ヲ附加スルナリ  
又皇陵トテ天子御歷代ノ御墳墓ニ對シテ故意不埒ナル  
所行ヲ仕向ケ天子ノ尊榮ヲ汚ス者ハ同ク三箇月以上五  
箇年以下ノ重禁錮二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ申付  
ルナリ

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處  
ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

皇族トハ天子ノ御一族ノ方々ヲ云フ之ニ對シテ危害ヲ  
加ヘタル者ハ天子ニ對スル罪ト同ク死刑ニ行ヒ危害ヲ  
加ヘントシテマダ其事ヲ仕遂ケ又者ハ一段下ノ無期徒  
刑ニ行ヒ皇族ユエニ矢張未遂犯罪ノ常例ハ瓜ヒ又ナリ

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ二月以上

四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ  
附加ス

天子ノ御一族ニ對スル無禮ノ所行ハ天子ニ對スル者ヨ  
リハ輕ク二箇月以上四箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ十圓以  
上百圓以下ノ罰金ヲ附加スルナリ  
本文皇族ノ墳墓ニ對スル無禮ノ所行ヲ罰スルノ文句ナ  
シ故ニ其所行ハ第二百六十四條以下ニアル常人ノ墳墓  
ニ對スル箇條ニテ罰スル者ナリ

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處  
スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

此條ノ意ハ此第一章第百十六條以下前條迄ニ書載スル  
皇室ニ對スル罪ヲ犯シテ輕罪ノ刑ニ行フ者ハ六箇月以  
上二箇年以下ノ監視ノ仕置ニ付スルトナリ是レハ第三



十九條ニ死刑及ヒ無期徒刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間監視ニ付ストアソ此章ノ死刑并ニ無期徒刑ニ行フ者ニ付テハ別段監視ノ事ヲ言ハズ凡自然ニ之ニ附スル者ナレトモ輕罪ニ用ル監視ハ第三十八條ニ各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得ズトアリテ之ヲ揭ク置カヌトモ假令ヒ如何様ノ事情アリトモ此附加刑ニ行フイハナラヌ者ユニ殊更正條ヲ設ケタルナリ又此章ノ犯罪ニ監視ヲ附スルハ其罪ノ至極性惡シキ者ナルガ故ナリ

第二章 國事ニ關スル罪凡十五節

國事ニ關スル罪トハ政治上其他國家大體ノ事ニ付政府ニ向ツテ企テ犯ス罪ノ義ニテ是迄度々説キ來ル國事犯トハ之ヲ謂フナリ此章ハ二節ニ分レ其目ハ内亂

ニ關スル罪、外患ニ關スル罪トス

凡ソ國事ノ罪ハ世間ノ安全ヲ害スルイモ人命財產ヲ損スルイモ至テ重大ナル者ナレトモ大概ハ皆其國ノ政治ヲ憂ヒ人民ノ幸福ヲ進ムルナドイフ用途ヲ以テ才智モアリ學問モアル人々ノ企テ犯ス罪ナレハ彼ノ強盜竊盜ナド、同日ノ論ナラヌハ既コ前ニモ説キタルガ如クナレバ公益犯罪ノ第二ニ置クホドノ重罪ナルニモ拘ハラズ之ヲ常事犯ニ比ブレハ死刑ノ外其仕置ノ仕方ハ輕キ者ナリ、サレトモ外患ノ罪ハ重シ仍ホ其條ニテ解説スヘシ

第一節 内亂ニ關スル罪凡八條

内亂トハ國內ノ騷亂トイフ義ニテ政府ヲ倒シ邦土ヲ竊ニ其他朝廷ノ大法ヲ亂ルガ爲メニ徒黨ヲ聚メ



兵器ヲ弄スル謀反ノ罪ヲ此節ニ定ムルナリ  
 第二百一十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝  
 憲ヲ紊亂スルコトヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタル者ハ左  
 ノ區別ニ從テ處斷ス

政府ヲ顛覆スルトハ政體ヲ改ムルカ又ハ政府ノ組立ヲ  
 換フルナドノ爲メニ兵力ヲ以テ時ノ政府ヲ倒スヲ謂フ  
 邦土ヲ僭竊スルトハ日本ノ領地ヲ竊ムコトニテ例ハ九  
 州カ琉球ヲ押領シテ己ガ領分ト爲シ日本政府ノ支配ヲ  
 受ケヌヲ謂フ其他朝憲ヲ紊亂スルトハ例ハ天子ノ廢  
 立ヲ謀リ又ハ府縣ノ制度ヲ廢スルナド總テ朝廷ノ大法  
 ヲ亂ルヲ謂フ斯様ノ事柄ヲ目途トシテ同類ヲ課シ合セ  
 兵器ヲ動カシ國內ノ騷亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ依  
 テ處斷スルナリ

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

首魁トハ張本人ニ義ニテ謀反軍ノ總大將トモ稱スヘキ  
 者ヲ云フ教唆者トハ謀反ヲ人ニ勸メタル者ヲ云フ此等  
 ノ人々ハ其犯罪ノ支配人トモ謂フヘキ者ナレバ死刑ニ  
 行フナリ全体總則第四百四條ニ二人以上現ニ罪ヲ犯シタ  
 ル者ハ皆正犯ト爲シ各自ニ其刑ヲ科ストアリ又其第百  
 九條ニ從犯ハ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ストアリテ共々罪ヲ  
 犯シタルハ勿論其手傳ノ者ト云ヘル僅カニ一段ヨリハ  
 減セズ規則ナレバ此條ハ唯正犯中ノ首魁ト教唆者ヲノ  
 ミ死刑ニ行ヒ其餘ノ共犯人ハ各加勢ノ模様ニ因テ以下  
 之ヲ數種ニ分テ次第ニ其刑ヲ輕クスル譯ハモト此内亂  
 ノ犯罪ハ孰レモ其同類多キモノナレバ若シ第百九條ノ  
 例ニ依テ之々同刑ニ行フハ餘リニ殘刻ニ過グルガ故



ナリ後ノ兇徒聚衆ノ犯罪モ亦之ト同例ナリ  
 二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ  
 無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス  
 内亂ノ爲メニ集合シタル味方勢ノ指揮軍配ヲ爲シ其他  
 大切ナル役目例ヘハ軍師參謀糧食方ノ總括ナド重立タ  
 ル用向チ勤メタル者ハ死刑ノ次ノ無期流刑ニ行ヒ其中  
 ニテ罪情ノ輕キ者ハ又其次ノ有期流刑ニ行フナリ有期  
 流刑ハ總則第二十條ニ見エタル如ク十二箇年以上十五  
 箇年以下ノ遠島ノ刑ナリ  
 三 兵器命殺ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ  
 重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス  
 武器金錢兵糧ヲ與ヘ又ハ小荷駄方會計掛人夫頭ナド前  
 ノ樞要ト云フ程デナキ色々ノ役目ヲ勤メタル者ハ重禁

獄トテ九箇年以上十一箇年以下ノ禁獄ニ行ヒ罪情輕キ  
 者ハ輕禁獄トテ六箇年以上八箇年以下ノ禁獄ニ行フナ  
 四 教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ  
 供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス  
 附和隨行トハ手下ニ加ハリテ之ニ隨ヒ行クヲ謂フ雜役  
 ニ供シタル者トハ焚出運送小使ナド肝要ナラヌ仕事ニ  
 使ハレタル者ヲ云フ人ノ勸メニ乘リ又ハ指圖ヲ受ケテ  
 右ノ所行ヲ爲シタル者ハ二箇年以上五箇年以下ノ輕禁  
 錮ニ行フナリ  
 第二百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶  
 金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ己ニ内亂ヲ起  
 シタル者ノ刑ニ同シ



マダ内亂ヲ起ス迄ニハ至ラヌモ之ヲ起ス目途ヲ以テ武器彈藥船舶金錢兵糧其他内亂ノ軍備ニ用ル品物ヲ手ニミテ奪ヒ取リタル者ハ其品ノ官有民有ニ拘ハラヌ早ヤ内亂ヲ起シタル者ノ刑即チ前條夫々ノ刑ニ當テ行フナリ其譚ハ早ヤ多人數集リテ武器類ヲ奪フニ至レハ世間ノ安全ヲ害スルト重ク其罪内亂ヲ起シタルト同シケレハナリ

第二百二十三條

政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テハナシ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

政治カ法律上ノ事ニ付已レト見込チ異ニスル政府ノ紐立チ變ルル目途ニテ大臣參議ナド最モ勢力アル官員ナハ君側ヲ清ム奸臣ヲ除クチドイテ口實ヲ以テ狙撃暗殺ナ

ズ一ハ古來其例少ナカラス斯様ノ事ハ假令ヒ群衆ヲ集メテ兵亂ヲ起スニハ至ラズモ其目途ヲ如何ゴト問ヘハ聊カ内亂ト違フ所ヲケレバ矢張内亂ト同ク論シ之ヲ勸メタル教唆者ト實地手ヲ下シテ殺シタル者ヲ死刑ニ行フナリ其他之ニ武器ヲ貸給シ又ハ教唆ヲ乘取附和隨行者ニテモアルトハ矢張前條ノ區別ニ依テ罰スル者ナリ

第二百二十四條

前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

此條ノ意ハ内亂ヲ起シ又ハ内亂ヲ起ス目途ニテ軍用品ヲ奪ヒ取ルモノ并ニ人ヲ殺スルニ付前ノ三箇條ニ定メタル罪ハマダ其事ヲ仕遂ケヌ時ニ於テ乃チ相當ノ刑ニ行フトナリ其譚ハ全體内亂ノ犯罪ハ孰レモ政府ヲ覆ヘ



シ其權力ヲ奪ヒ取ラントスル者ナレバ若シ望通りニ其事ヲ仕遂クルハ、コ、ノ罪人ハ皆當時ノ政府ノ功臣トナリ世ニ謂フ勝テハ官軍負シレバ賊徒ナル者ニテ此時ニ至レハ別ニ之ヲ罰スヘキ政府トテハナキ筈ニエ唯其未遂ノ時ノミ此法律ノ力アル者ナリ、サレバ其時ノミ之ヲ罰シ最早政府ヲ倒シテ之ニ代ル時ニ至レハ假令此刑法ハ以前通りニ執行スルニセヨ其後ノ犯罪ナラデハ決シテ罰スルコトハナキ者ナリ又内亂ノ目途ヲ以テ軍用品ヲ劫掠スル者並ニ政府ヲ變亂セシメタメ人ヲ謀殺スル者ハ尋常未遂犯ノ例ニ依レハ本刑ニ一段又ハ二段ヲ減スヘキ筈ナレバ(第百十二條)國事ニ關スル罪ハ他ノ罪ヨリハ重キ者トシテ矢張未遂ノ時ニ於テ本刑ヲ科スルナリ

第百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ハ第百二十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス  
内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

兵隊ヲ招キ集メ又ハ武器金銀兵糧ヲ用意シ其他内亂ノ支度ヲ爲シタル迄ニテ、マダ内亂ヲ起シ武器彈藥類ヲ奪フ迄ニ至ラヌ者ハ第百二十一條ニ首魁ヨリ雜役者マデ夫々區別シタル刑例ニ引合セテ孰レモ相當ノ刑ヨリ一段減シテ罰スルナリ  
内亂ヲ起サシメタメニ陰密ニ同類トカタリ合ヒ唯其目論見ヲ爲ス迄ニテ、マダ兵隊ヲ集メ武器兵糧ヲ備フルナド用意支度ニ掛ラヌ者ハ第百二十一條ノ刑例ニ引合セテ



孰レモ相當ノ刑ヨリ二段減シテ罰スルナリ  
 此條豫備陰謀ヲ罰スル規則モ尋常ノ處斷例トハ違フ者  
 ニテ總則第一百一條ノ罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ豫備ヲ  
 爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記  
 載スルニ非サレハ其刑ヲ科セストイフニ應シタル格別  
 ノ本條ナリ是レモ内亂ハ禍害ノ重大ナル者トスルヨリ  
 出タル者ナリ

第三百二十六條

内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未タ

其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ  
 免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

内亂ノ支度又ハ陰密ノ相談ハナストモ、マダ其事ヲ仕始  
 メヌ前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ早ヤ其事ノ露顯シタ  
 ルト否トニ拘ハラズ(此處總則第八十五條ノ未タ發覺セ

サル前ニ於テ云々ノ處ト參看)孰レモ相當ノ刑ヲ全免シ  
 唯六箇月以上三箇年以下ノ監視ニ付スルナリ此監視期  
 限ハ總則第四十條ノ例ニ從ヒ裁判確定ノ日ヨリ算ヘ起  
 スナリ

此條自首ノ規則モ總則第八十五條ノ常例ト違ヒ第八十  
 八條ニ本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者トイフニ應シタ  
 ル格別ノ規則ナリ全體國事犯罪ハ他ノ犯罪ト違ヒ其陰  
 謀マデモ容赦ナク罰スルホドノ者ナルニ自首ニ至テハ  
 却テ他ノ犯罪ヨリモ輕キノミナラス全ク其刑ヲ免シテ  
 唯六箇月以上三箇年以下ノ監視ニ付スルハ甚ダ鈞合惡  
 キヤウナレハ、ソコガ國事犯ノ國事犯タル所ナリ其譯如  
 何ニトナレハ前ニモ度々説キタル如ク國事犯殊ニ内亂  
 ノ犯罪ハ其性質ヨリ之ヲ謂ヘハ固ヨリ彼ノ強盜竊盜ナ



第二百二十七條

内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シ

ド、ハ雲泥ノ相違ナレド世間ヲ騒ガシ人命ヲ損ヒ國財ヲ費ス上ヨリ之ヲ謂ヘバ其害實ニ強盜竊盜ノ比ニアラズ故ニ其陰謀豫備迄モ罰スルコトハ定ムレド唯ソレノミニテ實地ニ其事ヲ行ハヌ前ニ於テ陰謀ノ様子同類ノ多少ナド一々自首ヲ爲スキハ官ハ直標鎮定ニ着手シ圖ラズ豫防ノ届クコトモアルベケレバ彼ノ強盜竊盜ガ早ヤ其事ヲ行ヒ後コテ自首スル者ニ比フレハ却テ雲泥ノ相違ナレバコ、ニ格別ノ規則ヲ設ケテ自首者ノ有ラントシテ望ム者ナリサレハ此規則ヲ設ケタル趣意ハ豫備陰謀ヲ罰スル趣意ト併ビ行ハレテ相戻ラヌ者ト謂フヘシ唯其罪ハ元來世間ニ大害アル者ナレバ後日豫防ノ爲メニ格別ノ監視ニ付シ警察官ヲシテ其行狀進退ニ注意サスルナリ

タル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

凡ソ内亂ヲ起サントコハ豫テ同志ノ者相集リ密議連判其他色々ノ用向ヲ爲スニ付テハ他人ノ耳目ニ觸レ難キ寄合場所ヲ得ルガ肝要ナルベシ故ニ内亂ノ寄合ト知りツ、之ニ其場所ヲ與フルハ利慾ノ爲メナルト其爲メナラヌトニ拘ハラス亦輕カラヌ犯罪ユエニ二箇年以上五箇年以下ノ輕禁錮ニ行フナリ

第二百二十八條

内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂

ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

國內ノ騷亂ニ連レテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ヲ仕遂クルタメノ所行ニ非スシテ其目途ニ關係ナキ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常犯入ノ刑ニ引合ヒ孰シカ重キ方ニ從



テ處斷スルナリ例ハ政府ヲ覆ヘシ邦土ヲ竊ミ朝憲ヲ  
 紊ラントスル目途ヲ以テ内亂ヲ起サハ其味方ニ手向フ  
 兵隊ヲ殺シ官軍ノ武器金穀ヲ分取スルハ其目途ヲ遂  
 ケントスルニ必要ナレバ此等ハ前條々内亂ノ規則ニ依  
 テ處斷スレモ若シ其勢ニ連レテ遺恨ノ爲メニ敵ニモア  
 ラヌ人ヲ殺シ私慾ノ爲メニ金錢ヲ奪ヒ又ハ婦女ヲ強姦  
 スル類ハ全ク其目途外ノ所行ナレハ此等ハ通常ノ人殺、  
 強盜、強姦ノ刑ニ引合セ其刑ガ重ケレハ之ニ從ヒ内亂ノ  
 刑ガ重ケレハ之ニ從テ罰スルヲ云フ

第二節 外患ニ關スル罪凡七條

外患トハ國外ノ患害トイフ義ニテ日本人タル者ガ  
 外國ト謀シ合セ本國日本ニ向ツテ患害ヲ爲シ又ハ  
 外國ガ日本ニ向ツテ患害ヲ爲スニ當リ之ヲ防禦ス

ルコトハナサテ却テ外ヲ助ケテ内ヲ害シ已ガ謀反ヲ  
 遂ケントスル罪ヲ此節ニ掲グルナリ

此外患ニ關スル罪モ前節ノ内亂ニ關スル罪ト稍ヤ  
 相似寄リタル者ニテ矢張本國ノ政治其他國家大體  
 ノ事ニ付已ガ存意ノ達セヌヲ憤リ或ハ邦土ヲ竊マ  
 シガタメニ之ニ患害ヲ爲ス者ナレハ刑モ内亂ノ刑  
 ト同ク定役ニ就カサヌ仕置ヲ用ルナリ、サレモ其罪  
 ノ外ヲ助ケテ内ヲ害スル所行ナルダケニ其情モ惡  
 ムヘク其害モ恐ルベキユエ之ヲ内亂ニ比ブレバ餘  
 程嚴シク罰スル者ナリ

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト  
 交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附  
 屬シタル者ハ死刑ニ處ス



外國ニ一味レテ己ガ本國日本ニ敵對シ又ハ外國ニ  
 中日本ニ味方スル同盟國ニ敵對シ其他總テ本國日本ニ  
 謀叛ヲ爲シテ敵ノ兵隊ニ附キタル者ハ孰レモ死刑ニ行  
 フナリ  
 前節内亂ノ犯罪ハ首魁并ニ教唆者ヲ死刑ニ行ヒ其餘ノ  
 者ハ各加勢ノ輕重ニ因テ其刑ニ區別アレドモ此條外患ノ  
 犯罪ハ其邊ノ區別ヲ設ケス上ハ首魁教唆者ヨリ下ハ雜  
 兵職人共ニ至ル迄苟シモ本國ニ背叛シテ敵兵ニ附キタ  
 ル者ハ悉皆死刑ニ行フナリ是レハ前ニ述ヘタル如ク外  
 ヲ助ケテ内ヲ害スル逆罪ナルカ故ナリ又同盟國ニ敵シ  
 タルチ本國ニ敵シタルト同刑ニ行フ譯ハ戰爭中我味方  
 ノトナレハ聊カ其間ニ差別ナケレハナリ

第二百十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシ

メ若クハ本國及同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船  
 艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタ  
 ル者ハ死刑ニ處ス

本國ガ外國ト戰爭中本國人ニテ現在其本國ニハ敵對セ  
 ズモ敵タル外國ノ兵隊ヲ手引シテ本國ノ領内ニ入ラセ  
 或ハ本國並ニ味方國ノ都府城塞又ハ武器彈藥船艦其他  
 軍事ニ付要用アル土地家屋(港、陣所、倉庫、彈藥製造所ノ類)  
 物件(兵糧車馬ノ類)ヲ敵タル外國ニ引渡シタル者ハ其害  
 自親ニ本國ニ敵對スルト同シケレバ死刑ニ行フナリ

第二百十一條 本國及同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏  
 泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ  
 通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス  
 敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之



ヲ藏匿シタル者亦同シ

軍情トハ軍中ノ様子ヲ謂フ機密トハ至テ大切ナル密事ノ義ニテ軍配駈引ノ類ヲ云フ漏泄トハ漏ラシ聞カスヲ謂フ險夷トハ難所ナルカ平地ナルカヲ謂フ間諜トハ忍ビノ廻ハシ者ノ義ナリ

本國並ニ味方國ノ兵數、兵糧彈藥ノ有高、兵士ノ和、不和ナド總テ軍中ノ様子又ハ其軍配、駈引、暗語ナド總テ大切ノ密事ヲ敵方ニ漏ラシ或ハ兵隊ノ備ヘアル要害ノ場所又ハ道筋ノ難所ナルカ平地ナルカヲ敵方ニ知ラセルハ是亦重キ罪ナレド前二條ノ罪ニ比ブレハ少ク輕キ所モアレバ死刑ノ次ノ無期流刑ニ行フナリ  
敵方ノ廻ハシ者ヲ手引シテ本國ノ領地内ニ入ラセ或ハ其者ヲ、カクマヒタル者ハ同ク無期流刑ニ行フナリ

第三百二十二條

陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

陸軍カ海軍ヨリ請負ヲ爲シテ武器彈藥兵糧類ヲ軍中ニ送り並ニ陣所臺場ノ建築、彈藥製造ナド其工作ヲ爲ス者カ敵方ト心ヲ合セ又ハ賄賂ヲ取リテ陸海軍ノ言付ニ背キ軍用ノ差支ヲ起サセタル者ハ有期流刑トテ十二箇年以上十五箇年以下ノ遠島ニ行フナリ

第三百二十三條

外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス  
我國ト條約ノ有無ニ拘ハラズ總テ外國ニ對シテ我日本政府ノ言付ヲ待タズ勝手ニ戰爭ヲ仕向ケルハ第一朝廷



之 大權ヲ侵シ又其外國ト我國全體トノ交際ヲ破リ内國  
 一般ノ騷動ヲ惹キ起ス重罪ナレハ前數條ノ外ヲ助ケテ  
 内ヲ害スル罪ニ比ブシテ餘程其情ノ輕キ者ユエ此レハ  
 有期流刑ニ行ヒ唯其支度ノミニテ實地ニダ戰爭ヲ始メ  
 ヌ者ハ其様子ニ因テ前條ノ有期流刑ヨリ一段カ二段減  
 シテ罰スルナリ

此條モ總則第百十一條ニ謂ヘル豫備ヲ罰スル旨ノ記載  
 アル本條ニテ此節外患ニ關スル犯罪中其豫備ヲ罰スル  
 ハ唯此條アルノミナリ之ヲ前節ノ豫備ヲ罰スル者ニ比  
 ブレハ大ニ輕重ノ違ヒアリ且内亂ハ其陰謀ヲ罰スレハ  
 外患ハ之ヲ罰セス是レハ外ヲ助ケテ内ヲ害スルハ内ヲ  
 以テ内ヲ亂ルヨリモ行ヒ難シ又實地ニ行ヒ始メタル上  
 ナラデハ其罪ノ成否トテモ覺束ナケレバナリ、サレハ此

條ノ外國ニ對シテ戰端ヲ開ク罪ハ少シク性質ノ違フ者  
 ナレハ此レノミ豫備ヲ罰スルコト定メタルナリ

第百三十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布  
 告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以  
 下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

外國ト外國トノ戰爭アル時本國日本ニ於テハ其戰爭ニ  
 ツキテ左程ニ大イナル關係ナキ等ノ事情ニヨリ局外中  
 立トテ萬國公法ノ規則ニ從ヒ何方ニモ味方ナサズ餘  
 所事トシテ傍觀スル旨ノ布告アル時其布告ニ背キテ政  
 府ノ許サヌ事ヲナスハ何レカ一方ノ怨ヲ招キ果ニハ之  
 ト戰爭ヲ開ク場合ニモ立至リテ國家騷亂ノ基ヲトモナ  
 レハ斯クノ所行アリタル者ハ六箇月以上三箇年以下ノ  
 輕禁錮ニ行ヒ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加スルナリ



本文布告ニ違背シタル者トハ如何ナル所行アル者カ分  
 明ナラズ、サレドモ萬國公法ニ依ルニ局外中立ヲ守ル國ハ  
 多ク兵員武器彈藥軍艦ノ類ヲ何レノ方ニモ貸與ヘス又  
 賣渡モセス雙方都合好クスル者ナレハ本文ノ布告ト云  
 フモ矢張斯様ノ布告ニテ一ノ單行布告トハ違ヒ之口違  
 背スルトハ商人ナドガ私カニ武器類ヲ賣渡シ其禁制ヲ  
 犯ス類ナルベシ、サレドモ局外中立ハ必シモ右ノ如ク行フ  
 者トハ限ルヘカラス食物ダケハ賣渡スヲ得ルトカ或ハ  
 其國々ノ軍艦ハ一切我海岸ニ寄セ付ケストカ又ハ寄セ  
 付ケテモ差支ナシトカ其時々ノ模様ニ因テ孰レカ確然  
 ト定ムヘキ者ナレバ今日無事ノ時ニ當リテ前以テ此刑  
 法中ニ掲ケ置クハ叶ハヌニテ本文唯々布告ニ違背シ  
 云々ト掲ケ置キ時ニ臨ミテ委シク方法ヲ示メス者ナリ

第三百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ  
 處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

此章トハ前ノ内亂ニ關スル罪ト此外患ニ關スル罪トノ  
 兩節ヲ込メテ云フ内亂外患ノ犯罪ハ孰レモ國事ノ犯罪  
 ナレハ之ニ因テ輕罪禁錮以下ノ刑ニ行ヒ其仕置ノ濟ミ  
 ヲル者ハ孰レモ後日豫防ノ爲メニ六箇月以上二箇年以  
 下ノ監視ノ仕置ニ付スルナリ

第三章 靜謐ヲ害スル罪 凡九節 四十六條

靜謐ヲ害スル罪トハ政府ノ役目トシテ世間ヲ安穩無  
 事ニ治メントスルチ色々ノ惡事ヲ以テ妨グル罪ヲ云  
 フ此罪ノ箇條ハ第三百三十六條ヨリ第三百八十一條迄ニ  
 テ其小別ケノ目ヲ掲クシハ兇徒聚衆ノ罪官吏ノ職務  
 ナ行フチ妨害スル罪囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿ス



ル罪、附加刑ノ執行ヲ通ル、罪、私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製  
 造シ及ヒ所有スル罪、往來通信ヲ害スル罪、人ノ住所ヲ  
 侵ス罪、官ノ封印ヲ破棄スル罪、公務ヲ行フヲ拒ム罪ノ  
 九類ニテ各其節目ニテ分レリ此九類ノ罪ハ孰レモ皆  
 世間ノ安全ヲ妨害スル者ナレド前ノ内亂外患ノ如ク  
 ニハ重大ナラテハ其罰モ餘程彼レヨリハ輕キ者ナリ

第一節 兇徒聚衆ノ罪 凡三條

兇徒聚衆トハ、ソノモトモガ多人數ノ同類ヲ聚メ  
 テ共々惡事暴行ヲ働クヲ云ヒ前ノ内亂程ノ見込モ  
 ナク唯一時荒レ廻ハリテ世間ヲ騷ガス暴動一揆ノ  
 義ナリ即チ饑饉年ナドニ當リテ運上ヲ免レンガマ  
 ノニ縣廳ニ押掛ケ或ハ郡長ノ處置ガ氣ニ入ラヌ等  
 ノ事ヨリ郡役所ヲ打毀テ或ハ市町村里ヲ荒レ廻ル

類ナリ

第三百三十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ  
 説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆  
 者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附加隨行シタ  
 ル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

惡者トモ多勢ノ同類ヲ呼ビ聚メテ騷動ヲ起スイテ企テ  
 マダ其亂暴ヲ始メヌ前ニ警部カ巡查ナドガ其場ニ出張  
 ルカ又ハ役所ニ呼出シナドシテ即今集マリ居ル同類多  
 勢ノ者トモハ皆々引拂ヘヨト諭シ聞ケンニ早速聞入レ  
 テ解散チナシタラシモノハ實地マダ其害シ及ハヌ前ニ  
 エ孰レモ其罪ヲ問フハナケレド其説諭ヲ聞キテモ仍ホ  
 解散チナサヌ者ハ其張本人タル首魁並ニ事ヲ勸メタル  
 教唆者ヲ三箇月以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ之ニ附

兇徒聚衆ノ罪



添ヒ行キタル手下ノ者ハ其多人數ニエニ總則共犯ノ例ニテハ罰セズ唯二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ此條モ前章國事ニ關スル罪ト同ク惡事ノ支度ヲ罰スル者ニテ總則第百十一條ノ罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ非カレハ其刑ヲ科セストイフニ應シタル其記載アル本條ナリ多人數相集マリテ惡事ヲ圖ルハ國法ヲ恐レズ世間ヲ憚カラヌ所行ニテ其害誠ニ輕カラチハ斯ク説諭ヲ經タル集合者ヲ罰スルナリ

第百三十七條

兇徒多衆ヲ嘯聚シ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動ノ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス

附和隨行シタル者ハ二圓以上廿圓以下ノ罰金ニ處ス喧鬧トハ騒ギ立ツヲ謂フ強逼トハカツクニテ責メ付ルヲ謂フ騷擾トハ騒ギ亂ダヌヲ謂フ煽動トハアフギ立ルヲ謂フ惡者トモ多人數ヲ呼集メテ前條ノ説諭ヲ聞カズ又ハ説諭ヲ受ケヌ間ニ早ヤ亂暴ヲ仕始メ役所ニ押掛ケテ、ドヤ、ト騒ギ立テカツクニテ詰合ノ役人ニ責付キ又ハ村里市町ナドヲ騒ガシ其他豪家ヲ荒レ散ラスナド總テ騷動亂暴ニ及ビタル者ハ其張本人ト其事ヲ言勸メタル者トナ重懲役トテ九箇年以上十一箇年以下ノ懲役ニ行ヒ張本人ノ呼集メニ應シ他人ヲ煽動テ徒黨ノ威勢ヲ添ヘタル者ハ輕懲役トテ六箇年以上八箇年以下ノ懲役ニ行ヒ其中罪情ノ輕キ者ハ此輕懲役ヨリ一段減シテ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ唯附添ヒ行キタル手



下ノ者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ  
**第百三十八條** 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス  
 首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同シ

前條ノ亂暴ヲ働ク時ニ役人人民ノ差別ナク誰ニテモ之ヲ殺シ或ハ家屋倉庫船舶ナド燒拂ヒタル時ハ元來多人數ノ犯罪ナレバ總則共犯ノ例ヲ以テ悉皆其罪ニ行フコトハ叶ハヌユニ現在手ヲ卸シテ其人ヲ殺シ又ハ火ヲ附ケタル者ノミヲ死刑ニ行フナリ  
 亂暴ノ張本人並ニ教唆者タルモノニシテ右ノ人ヲ殺シ火ヲ放ツ事ヲ知リテ之ヲ止メズ其爲ルガ儘ニサセタル者ハ自分がサセタルト同様ナレバ同ク死刑ニ行フナリ

此條ハ前ノ内亂ノ部ニ在ル第百二十八條ノ規則ト粗ボ相似タル箇條ニテ其惡事ノ行過ギタルヲ罰スル者ナリ  
 既ニ暴動ヲナスカラニハ家屋倉庫ヲ打毀チ又ハ牛馬ヲ叩キ殺シ或ハ人ニ強迫シ或ハ田畑ヲ踏荒スナドハ固ヨリ其中ニ在ル者ナレバ此兇徒聚衆ノ本條ニ依テ罰スレ  
 且人殺シ放火ノ罪ハ暴動中ニテ尤モ行過タル惡事ナレハ此レハ其例外トシテ罰スル者ナリ

**第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪 凡三條**

政府ノ役人ハ皆世間ノ公衆ニ代リテ公務ノ取扱ヒ  
 ナナス者ナレハ若シ其役目ヲ妨クルニ於テハ其爲メ公務ハ撻取ラスシテ果ニハ世間ノ安全ヲ亂ル場  
 合ニモ至ルベケレバ此レモ公益犯罪ノ部中ニ入ル  
 ナリ、サレバ假令ヒ其身分ハ役人ニテモ其役目ヲ



行ハヌ時ノ暴行脅迫ハ固ヨリ通常人民ニ對スル者ト同標ニ罰スルナリ

第三百三十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

役人ガ役目向ニ因テ法律規則ニ定メアル事柄ヲ執行ヒ又ハ行政官署トテ府縣廳郡役所ナド司法官署トテ裁判所檢事局ナドノ言付ヲ執行フニ當リ亂暴又ハ脅迫ヲ以テ其役人ニ手向ヒ行フヘキ役目ヲ行ハセヌ例ハハ税金ヲ取立ルニ之ヲ出スマシト力ヅクニテ手向ヲ爲シ或ハ

犯罪アリシ時巡查カ憲兵ガ召捕ラントスルヲ拒ミテ手荒キ所行シタル者ハ四箇月以上四箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加スルナリ

又右ノ如ク役人ニ向ツテ其ノ役目ヲ行ハセヌ所業テナク役人ノ當然爲テハナラヌ事柄ヲサスル例ヘハ巡查ガ召捕ルヘキ人テナキヲ無理ニ迫リテ召捕ラセ又ハ裁判官ニ迫リテ爲テハナラヌ裁判ヲサスルナド暴行脅迫ノ所行シタル者ハ同ク四箇月以上四箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加スルナリ

第四百十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

前條暴行脅迫ノ罪ヲ犯シ、ソノニ因テ役人ヲ打擲シテ疵



負ハセタル者ハ第二百九十九條以下ノ毆打創傷トテ通  
 常人民ガ打擲ノ末疵負ハセタル犯罪ノ罰例ナル箇條々  
 々ニ引合セテ其役人ダケニ一段ヲ加ヘ前條ト孰シカ重  
 キ方ニ從テ處斷スルナリ例ヘハ前條ノ犯罪ニ因テ役人  
 ナ打殺シタラシム之ヲ第二百九十九條ト引合ハスニ其  
 刑重懲役ナレバ之ニ一段ヲ加ヘテ有期徒刑トナスニ前  
 條ノ禁錮罰金ヨリハ此方ガ重キユニ有期徒刑ニ行ヒ又  
 二十日以上ノ時間病氣ヅカセタラシムハ之ヲ第三百一  
 條ト引合ハスニ其刑一箇年以上三箇年以下ノ重禁錮ヲ  
 レバ之ニ一段ヲ加ヘテ一箇年三箇月以上三箇年九箇月  
 以下ノ重禁錮トナスニ此方ヨリハ前條ノ禁錮罰金ガ重  
 キユニ之ニ從テ罰スル類ナリ

第四百十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若

クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ  
 重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說  
 ナ以テ侮辱シタル者亦同シ

役人ノ役日向ニ付其人ノ面前ニ於テ容貌又ハ言葉ヲ以  
 テ侮辱シタル者ハ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮  
 ニ行ヒ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加スルナリ  
 又其面前デナシモ版ニ摺リ出シタル書類圖面繪畫或ハ  
 多人數ヲ集メタル表向ノ演說ヲ以テ其人ノ役日向ニ付  
 侮辱シタル者ハ同ク一箇月以上一箇年以下ノ重禁  
 錮ニ行ヒ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加スルナリ  
 此條前文ノ侮辱ハ例ヘハ裁判所ノ白洲ニ於テ原被告對  
 密ノ時ナド自分ガ言分ノ通ラヌヲ憤リ又ハ負公事トナ



リタルヲ遺恨ニ思ヒ掛リノ判事ニ向ツテ甚ダシキ無禮ノ素振ヲ觀モ或ハ惡口雜言ニ及フ類ニテ大概其平常ノ役目向ニ付色々言ヒ罵シルハ少カルベケレド後文書畫類ヲ以テノ侮辱ハ重モニ其人ガ平生ノ役目向ニ付彼是アソサマニ言ヒナスガ多カルベク例ヘハ判事何某ハ役目ノ上ニテ斯々ノ私慾事アリ縣令何某ハ同ク斯々ノ不都合筋アリナド著書ニ記シ演說ニ述ベテ世間ニ其惡名ヲ觸レ傳フ類ナルベケレハ斯ク言觸ラス中ニハ現在其人ガ役目ノ上ニテ爲シタル不都合ニ相違ナキ事柄モアルベク又前文ノ侮辱トテモ或ハ此類ノ事アルベシ果シテ現在アル事柄ナルチ人民タル者ガ表向其不都合ヲ鳴ラシ其善惡ヲ論シタラフニハ如何處分サルベキカ全體役人ハ並々ノ人民トハ違ヒ其役目ノ上ニテ取扱ヒタル

事柄ハ一々人民タル者ノ身ノ上ニ及ビ來リテ其一人ノ惡事ハ千万人ノ難澁トモナルモノナレハ現在アリタル事柄ナリセバ表向コレヲ是非スルモ罰セズ善カルベキニト思フ人モアルベケレト斯クシテハ官民常ニ爭論ノミ多ク世間ノ折合惡キガユニ後ノ第三百五十八條ノ誹毀ノ例ト同ク事實ノ有無ヲ問フコトナク皆罰スルコト定メタルナリ且右様ノ事情アルガ爲メニ其人ノ告訴ヲ待ダス直ニ其罪ヲ治ムル者ナリ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪 凡十五條

囚徒トハ罪アルニ因テ捕ハレタル囚人ヲ謂フ犯セシ罪アルニ因テ罰ヲ蒙リ現在仕置ニ行ハルハ人並ニ罰ヲ蒙ラヌ前ニ下吟味ノタメ其筋ヘ留メ置カレ、身分ニテ獄舎ヲ破ルカ又ハ番人ノ隙ヲ窺ヒ獄舎



ノ外ニ逃ケ出或ハ護送人ノ隙ヲ窺ヒ途中ニテ逃亡シタル者囚徒逃走ノ罪ト云フ又罪人トハ罪アリテ其筋ノ尋テ人トナリタル者ヲ謂フ之ヲ其筋ニ捕ヘサセマシト竊ニ、カシマヒ置キタル者罪人ヲ藏匿スル罪ト云フ諸囚人ノ隙モアラハ逃亡セント思フハ誰レモ有勝ノ情ナルベシ夫レ故ニコソ逃ガスマジト囚ヘ置ク者ナレバ逃グルハ逃ガス者ノ罪ニテ逃クル者ニハ左マデノ罪モアルマシキガ如クナレ、其罰ナクテハ取續リ立タズ却テ逃亡ヲ勸ムルノ姿ナレハ、ゴ、ニ其罪ヲ定ムル者ナリ又罪人ヲ藏匿ヒ置クハ人ヲ憫レム人情ヨリ出ル者ナレト一人ノ私情ヲ以テ公ケノ罪人ヲ助ルハ法ニ於テ免スベキ者ナラチバ此レヲモ罪トシテ罰スル者ナリ

第四百十二條 己決ノ囚徒逃走レタル者ハ一月以上六

月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

重罪輕罪違警罪ノ差別ナク已デニ其罪ニ因テ判決ヲ受ケ現在在任置ニ行ハル、囚人ノ身ニテ番人又ハ護送人ノ隙ヲ窺ヒ別ニ手荒キ事モ爲サテ獄舎ヲ抜ケ出或ハ途中ヨリ逃亡シタル者ハ一箇月以上六箇月以下ノ重禁錮ニ行フナリ

若シ又獄舎ヲ切破リ或ハ獄具トテ手錠鎖ナドヲ打毀ハシ又ハ番人護送人ヲ打倒スナド亂暴脅迫ノ振舞ヲ以テ大形ニ逃亡シタル者ハ三箇月以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪



倍罪アルコ因テ現在在仕置テ受クル囚人ノ身ニテ掛役人  
 ノ目ヲ掠メテ擅リニ逃亡ヲ企ルハ法ヲ恐レヌ横着ナル  
 仕業ナレハ囚人ノ身トシテ逃亡シタル思フハ誰レモ同  
 シ情ナルベケレバ深ク疾ニ視ルベキ惡事ニアラズ法ヲ  
 恐ルレバコソ逆モ叶ハジトテ逃グル者ナレ事情酌ニ遣  
 ハシテモ善キモノナリ故コ本文ノ如ク唯六箇月以下ノ  
 重禁錮ニ行フノミナレハ亂暴脅迫ノ振舞ヲ爲シテ其身  
 ノ逃亡ヲ企ルハ如何ニモ横着至極ノ仕業ナレハ本文後  
 段ノ如ク一層重キ刑ニ行フナリ又前後孰レモ禁錮ノミ  
 ニ行ヒ別ニ罰金ヲ添ヘヌ譯ハ囚人ノ身ニテハ大概金錢  
 ノ儲ヘナキ食乏ノ人ノミ多ク假令ヒ儲ヘアルモ孰レ自  
 宅ニ置クモノナレハ之ニ罰金ヲ申付ルハ逃ゲシ本人ニ  
 リハ却テ家屬ヲ罰スル姿ニ成行キ斯クテハ法律ノ本意

ナラテハ唯禁錮ノ仕置ノミニ止ムル者ナリ貧富ノ差別  
 ニ因テ斯様ノ法ヲ設クルハ後ノ條々ニモ數多アリテ珍  
 シカラス

**第四百十三條** 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯  
 ナテテ論セス其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ  
 以テ論ス

此條ノ意ハ已テニ判決ヲ受ケテ現在在仕置ニ行ハル、囚  
 人ニテ前條ノ如クニ逃亡ノ罪ヲ犯スト云ヘル之ヲ以前  
 ノ犯罪ニ引合セテ二度目ノ犯罪トシテハ罰セズ矢張始  
 メテ犯シタル者ト見做シテ前條定メ通りノ刑ニ行フナ  
 リ、サレハ同シ仕置中再度逃亡シタル者ハ最早堪忍スヘ  
 キニアラテハ二度目ノ犯罪トシテ總則第九十二條ノ規  
 則ニ依リ此度逃亡ノ罪ニ因テ申付クヘキ相當ノ刑ニ一

囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪



段加へテ罰スルトナリ  
 總則第九十二條ニ先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者  
 再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フトアレバ此條一  
 且犯罪アリテ其仕置ノ期限内ニ逃亡ノ罪ヲ犯シタル者  
 ハ此逃亡ノ本刑ニ一段ヲ加ヘテ處斷スベキ筈ナルニ左  
 ハモズノ一度ノ逃亡マデハ第四百四十二條ノ定メ通りニ  
 行フ譯ハ既ニ前ニモ説ク如ク其身獄内ノ不自由ニ堪兼  
 又ハ刑罰ヲ恐ル、心ヨリ法律ノ恐ルヘキヲ打忘レテ逃  
 亡シタル者ナレハ同シ惡事ノ中ニテモ尙ホ憫レムヘキ  
 所アリ、サレバ最初一度ノ逃亡迄ハ唯相當ノ刑ニ行ヒ同  
 シ仕置中兩度逃亡ノ者ナラデハ再犯加重ノ例ニ依テハ  
 罰セヌナリ此理合アルニ因リ一度逃亡ノ其仕置モ濟ミ  
 クル後ニ外ニテ又惡事ヲ働キ夫レガタメ召捕ラレテ入

獄ヲ爲シ居ル中ニ又モ逃亡シタラントテ先度ノ逃亡ニ  
 引合セテ之ヲ再度ノ犯罪トハセス矢張初度ノ犯罪ト見  
 做シテ第四百四十二條ノ刑ニ行フナリ此例ハ後ノ第五百  
 十六條ノ規則ト同シ併セ見ルヘシ

第四百四十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第百  
 四十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ  
 數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

罪アリト云フニ囚ヲ召捕トナリ、マダ判決ノ濟マヌ吟味  
 中ノ囚人タル身ニテ番人護送人ノ際ヲ窺ヒ又ハ留置場  
 ナ破リナドシテ逃亡シタル者ハ前々條仕置中ノ逃亡人  
 ニ比ブレハ少シハ罪モ輕キヤウニ思ハルレド法ヲ破ル  
 横着ノ仕業ニ至リテハ聊カ相違ノ廉モナク況シテ逃亡  
 ノ上ハ以前ノ犯罪ニ付種々ノ證據物ヲ取消シ或ハ証據



人ト謀リ合スルナドノ妨害モアレハ矢張前々條仕置中ノ逃亡人ノ罰例ト同シク唯逃亡ノ者ハ一箇月以上六箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ノ上逃亡シタル者ハ三箇月以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ併シ逃亡前吟味ヲ受ケ居タル原ノ犯罪ヲ判決スル時第百條ノ重罪輕罪ヲ犯シ未ダ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從テ處斷スト云フ例並ニ其以下ノ例ニ引合セ原ノ犯罪ト此度ノ逃亡罪ト孰レカ重キ一方ノ刑ニ行フナリ

第百四十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ

第百四十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

仕置中吟味中ノ差別ナク凡ソ囚人タルモノ、一人二人ニテ逃亡スルハ平常其邊ノ取締マニ嚴重ナラバ隨分防

ギモ着クベキナレハ最早三人以上トナリテハ其勢力モ烈シク大低ノ取締ニテハ容易ニ防キ止ムヘキニ非ス隨ツテ世間ノ防害チナスコトモ多キユニ三人以上相談ノ上ニテ逃亡シタル者ハ第百四十二條ノ例ニ引合セ孰レモ相當ノ刑ヨリハ一段加ヘテ罰スルナリ總則第百七條ニ犯人ノ多數ニ囚リ刑ヲ加重ス可キ時云々ト云ヘルハ即チ此條ナドチ指スモノナリ

第百四十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器

具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

前條々ハ囚人が自親ニ逃亡シタルヲ罰スル規則ヲ定メ



此條以下ハ他人ガ囚人ヲ逃亡サセヨルヲ罰スル規則ヲ定ムルナリ

囚人ヲ逃亡サスルタメ兇器トテ庖丁鋸鉄槌又ハ刀小刀類ノ刃物其外錐釘或ハ梯子ナド總テ牢ヲ破リ又ハ亂暴脅迫ニ入用ノ道具ヲ其囚人ニ與ヘ遣ハシ又ハ逃亡ノ仕方ヲ教ヘ遣ハシタル迄ニテ其囚人ガ、マダ逃亡スル迄ニ至ラヌ者ハ三箇月以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ惡意ヲ懲ラシテ後來ヲ戒ムルナリ若シ右ノ刃物道具類ヲ與ヘ遣ハシ又ハ逃亡ノ仕方ヲ教ヘタルニ因テ愈ヨ其囚人ガ逃亡スルニ至リタル時ハ惡事ノ目途ガ最早實地ニ行ハレタル者ニ付前ノ刑ニ一段加ヘテ罰スルナリ

此條囚人ヲ逃亡サセタル者ト前ノ自親ニ逃亡シタル囚

人トノ刑罰ヲ比ベ視ルニ他人ヲ逃亡サセタル罪ハ却テ自親ニ逃亡シタル罪ヨリ重キハ何故ゾヤ其譯ハ全體囚人ト云フ者ハ監獄ノ規則ニ依テ嚴シキ取締ヲ受ケ獄外ノ様子マニ知り得ヌ者ノミナレバ牢ヲ破ル刃物ナド手ニ入ル、トハ勿論逃ケ出ル仕方サヘモ容易ニ得知ラルベキニ非ス然ルナ外ノ人ニテ其品ヲ入レ遣ハシ又ハ仕方ヲ教フルニ至リテハ監獄ノ取締モ無駄ト成ユキ其ノ害實ニ少シトセス況シテ前コモ云ヘル如ク囚人ノ逃亡シタル思フハ誰レモ同シ情ナルベケレド他人ノ逃亡ヲ助クルハ誠ニ心惡シキ仕業ユエ自親ニ逃亡スル者ヨリハ一キハ重ク罰スルガ至當ナレハナリ

第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ

囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪



處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役  
ニ處ス

囚人ヲ手ゴミニ奪取リ又ハ亂暴脅迫ノ仕業ヲ以テ囚人  
ノ逃亡ヲ助ケタル者ハ唯逃亡ノ道具ヲ與ヘ仕方ヲ教ヘ  
遣ハシタルヨリハ餘程重キ惡事ナレハ一箇年以上五箇  
年以下ノ重禁錮ニ行ヒ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附  
加スルナリ  
若シ右ノ囚人が重罪ノ刑ニ行ハレタル者コテアリシ時  
ハ之ヲ奪ヒ又ハ逃亡ヲ助ケタル者ヲ重罪トシテ輕懲役  
ニ行フナリ  
此條後段ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕  
懲役ニ處ストアリテ重罪ノ刑ニ該ル囚徒ナド、謂ハス

所ニ依レハ輕懲役ニ行フハ唯重罪ノ已決囚人ニ係ル時  
ノミコテ未決ノ囚人ニ係ル時ハ假令ヒ重罪ノクメニ留  
置カル、者ニテモ後段ノ刑ニハ當ラズ矢張前段ノ禁錮  
罰金ヲ申付ルモノナリ後ノ第一百五十條第一百五十一條モ  
亦同シ其譯ハ、マダ判決ヲ受ケヌ間ハ吟味ノ末如何ナル  
刑罰ニ行ハル、者ナルカ容易ク知り得ヘキコアラテド  
最早判決ノ後ニ至レハ重罪ノ囚人カ輕罪ノ囚人ナルカ  
ハ誰レニモ分カル者ナレハ斯ク已決ノ囚人ニ限リテ輕  
重罪ノ區別ヲ立テ其罰ヲ異ニスルナリ

第四百十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃  
走セシメタル時ハ亦前條ノ例ニ同シ

役目ニ因テ囚人ノ番ヲ爲シ又ハ護送ヲ爲ス身分ニテ故  
意囚人ヲ逃ガヌハ素ト其身ノ役目ニ付異議ナク預カリ



タルヲ逃カス者ナレハ前條平人ガ囚人ヲ奪取リ又ハ暴行脅迫ノ仕業ニ因テ其逃亡ヲ助ケタルト罪ノ鈞合ハ同様ナルユエ其罰例ト同シク輕罪ノ囚人ナル時ハ一箇年以上五箇年以下ノ重禁錮ト五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ケ重罪ノ囚人ナル時ハ輕懲役ニ行フナリ是レハ番人護送人ガ故意預リノ囚人ヲ逃カシタル罰例ニテ疎忽ノタメニ取逃カシタルハ後ノ箇條ニ掲クル者ナリ

**第四百十九條** 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

囚人逃亡ノ事ハ誠ニ險難ナル犯罪ユエ前ノ第四百十二條以下ノ數條ニ書載セアル重禁錮以下ニ當ル輕罪ヲ犯サントシテ何ニカ故障カ間違ノ出來タルニ因テマダ其事ヲ仕遂ケヌ者モ總則第四百十二條ノ例ニ引合セ前數條

ノ刑ニ一段又ハ二段減シテ罰スルナリ

**第百五十條** 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

役目ニ因テ囚人ノ番ヲ爲シ又ハ護送ヲ爲ス身分ニテ役目ニ疎畧ナル處ヨリ取締ヲ怠タリ夫レガ爲メニ囚人ノ逃グルヲモ覺ラス遂ニ之ヲ取逃ガシタラシハ誠ニ心ナキ越度トハ云ヘ元來職ニ甲斐モナキ怠リナルノミカ逃ガシタルガタメニハ大イニ世間ノ恐レヲ増シ人民ノ信用ニ背シテ少カラスサレハ全クノ過ナレハ唯二圓以上二十圓以下ノ罰金ノニ申付ルナリ

若シ取逃シタル囚人ガ重罪ノ刑ニ行ハレタル者モテア



リシ時ハ輕罪人ヲ逃シタルヨリ其害モ多ク其罪モ重キ  
 ニ此レヨハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ  
**第二百五十一條** 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セ  
 ラレタル者ナルトテ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシ  
 メタル者ハ十一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓  
 以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ  
 加フ

罪ヲ犯シテ其筋ノ尋子人トナリ居ル人又ハ逃亡ノ囚人  
 并ニ監視ノ仕置中ノ者ト知リテ其筋ヘモ訴出テ却テ  
 之ヲ、カシマヒ置或ハ逃ケ隠レサセテ其筋ノ手ヘ捕ヘサ  
 セザシトシタル者ハ法ヲ破リ惡事ヲ助クル罪人ナレハ  
 十一日以上一箇年以下ノ輕禁錮ニ行ヒ二圓以上二十圓

以下ノ罰金ヲ附加スルナリ  
 若シ其囚人が重罪ノ刑ニ行ハレタルモノニテアリシ時  
 ハ前ノ刑ヨリ一段ヲ加ヘ十三日以上一箇年三箇月以下  
 ノ輕禁錮二圓五十錢以上廿五圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ  
**第二百五十二條** 他人ノ罪ヲ免カレシメシテ圖リ其罪  
 證ト爲ル可キ物件ヲ隱蔽シタル者ハ十一日以上六月  
 以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附  
 加ス

已ガ親類ヲ除クノ外友達ナドガ何ニカ惡事ヲ働キタル  
 一アラシニ其人ノ罪ヲ免ガサント企テ罪ノ證據トナル  
 ヘキ品物例ヘバ盜人ナレバ盜ニ取リタル品物、人殺シナ  
 レバ夫レニ用ヒタル刃物、血ニ染ミタル衣類ナド總テ其  
 筋ヘ押ヘラルヘキ品物ヲ取隠シ因テ刑罰ヲ受サセマシ



トスル者ハ惡人ヲ助ケテ裁判ノ正當ヲ妨クル罪人ナレ  
ハ實際裁判ヲ妨ケタルト否トニ論ナク孰レモ本文ノ禁  
錮罰金ヲ申付ルナリ

第一百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人ノ親屬ニ  
係ル時ハ其罪ヲ論セス

凡ソ人ノ已ガ親類ノタメニ惡事ヲ推隱シ又ハ其人ヲ、カ  
シマヒ置キタルナドハ相互ノ愛情ヨリ出ルモノニテ人  
情已ムヲ得ヌ次第ナレハ假令法律ニテ禁シ止ムルモ容  
易ニ其甲斐アルヘキニ非ス况シテ之ヲ禁スルハ骨肉ノ  
情ヲ破ル醜法ナレハ前二條ニ書載セアル罪人囚人ナド  
ヲ助ケタル者が若シ其助ケヲ受ケタル罪人囚人ナドノ  
親類ニテアロシ時ハ全ク其罪ヲ構ハスナリ、サレド右二  
條ヨリ前ノ數條ニ書載セアル犯罪ハ餘リニ人情外ヅレ

タル仕業ニ付此レニハ聊カ容赦ヲ與ヘス矢張他人同様  
ノ刑罰ニ行フ者ナリ

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪凡三條

此節ハ總則第十條ニ書載セアル六箇ノ附加刑ノ中  
ニテ剝奪公權停止公權又ハ監視ノ仕置ヲ受ケタル  
者が擅リニ其執行ヲ遁レ内々公權ヲ行ヒ或ハ監視  
ノ規則ニ違犯シタルモノ、罪ト罰トヲ掲グル部ナ  
リ此等ノ附加刑ハ大抵主刑ノ仕置後ニ行フ者ニテ  
其執行ヲ遁カル、ハ已決囚人ノ主刑ノ執行ヲ遁ガ  
ル、ヨリハ爲シ易キユエ下條ノ如キハ主刑ヲ遁カ  
レタル者ヨリハ却テ其罰ヲ重クスルナリ

第一百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラ  
レタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下

附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪



ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

總則第三十一條第三十二條ニ依テ九箇ノ公權ヲ取上ケ  
ラレ又ハ第三十三條第三十四條ニ依テ若干ノ期限内公  
權ヲ取行フヲ差止メラレタル身分ニテ擅リニ仕置ノ執  
行ヲ適ガレテ外國ノ勳章ヲ帶用シ或ハ後見人トナリ會  
社ノ支配人トナルナド總テ仕置ノ命令ニ背キタル者ハ  
第一仕置ノ效能ヲ無ニシ又世間ノ公益ヲ害スルノ恐レ  
アルユエ此レニハ本文ノ禁錮ト罰金ヲ申付ルナリ

第百五十五條

監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シ  
タル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

此條ハ總則第三十七條以下ノ規則ニ依リ監視ノ仕置ヲ  
受ケタル身分ニテ毎月兩度所轄ノ警察所ニ到ルヘキニ  
到ラス酒宴遊興ノ席ナドニハ參會スマシキニ參會シ住

居ヲ轉スルコハ警察所ノ許可ヲ受クヘキニ受ケサルナ

ド總テ監視ノ規則ニ背キタル者ノ罰ヲ揭グルモノナリ

第百五十六條

前二條ノ罪ハ其期限内再ヒ犯シタル時  
ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

此條ノ意ハ前ノ第一百五十四條同五條ノ兩條ニ掲ケアル  
犯罪ハ同ノ仕置ノ期限内ニ再度其罪ヲ犯シタル時ナラ  
デハ二度目ノ犯罪トシテ一段重ク罰スルヲハナラヌト  
ナリ此意ハ前ノ第四十三條ニ已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ  
犯スト雖モ再犯ヲ以テ論セス其刑期限内再ヒ逃走シタ  
ル者ハ再犯ヲ以テ論スト云フコ同ク解モ其註ニ見ユク  
レハ就ヒテ看ルヘシ

第五節 私ニ軍用ノ銃廠彈藥ヲ製造シ及ヒ所有ス  
ル罪 凡五條



凡ソ軍務ノ權ハ政府ノ一手ニ在ルベキハ何レノ國  
 モ同様ニテ軍用ノ小銃大砲ハ勿論彈藥トテモ政府  
 ノ免許ヲ受クルニアラテハ製造スルヲ許サス者ナ  
 リ其譯ハ若シ之ヲ許シタラシムハ内亂ノ防ギタ、  
 ズ其外險難ナルト多キガ故ナリ、サレハ此節政府ノ  
 許可ナクテ銃砲彈藥ヲ製造シ或ハ輸入シ或ハ賣捌  
 キ或ハ所持スル者ノ罪ヲ揭ケ世間ノ安全ヲ保護ス  
 ルタメニ嚴シク其罪ヲ罰スルナリ併シ鳥銃ノ如キ  
 軍用ノ外ノ品ハ固ヨリ此節ニハ關係ナキナリ

第百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海  
 軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造シ  
 タル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以  
 上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦

同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下  
 ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

官ノ言付ヲ受ケタルニアラス又其許可ヲ受ケタルニモ  
 非スシテ陸軍海軍ノ軍用ニ供フル小銃大砲彈藥其外地  
 雷火「ダイナマイト」類ノ破裂シ易キ性質ヲ持テル品物ヲ  
 造ラヘタル者ハ營業ノタメニテ別ニ惡事ノ目途ハナク  
 且(内亂ノ爲メナレハ)第百二十五條ニ依テ罰セラル(政府  
 ニ對シテハ)軍務ノ權ヲ侵シ世間ニ對シテハ恐懼ノ心ヲ  
 懷カスル罪人ナレハ此レニハ二箇月以上二箇年以下ノ  
 重禁錮ト二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ申付ケ假令ヒ  
 自親ニ製造ハセス且外國ニテ製造ノ品ヲ我が國へ輸  
 入ル、ハ矢張自親ニ製造シタルト同様ノ事ニ付是亦同

私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪



罰ニ行フナリ

又自親ニ製造輸入ハセズ他人ノ製造輸入シタル前段ノ銃砲彈藥并ニ破裂質ノ品物ヲ官ノ言付モ受ケス官ノ免許ヲモ得スシテ内々世間ニ賣出シタル者ハ危險ノ品ヲ世間ニ布キ散ラス罪人ナレハ前ノ製造人輸入人ノ罪ヨリハ輕キユエ此レニハ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ  
備此條ノ罰金ハ外ノ犯罪ニ比ブレハ餘程其高ノ多キ譯ハ斯様ノ惡事ハ重モニ其營業人ガ犯スモノナレハ懲罰ノ仕方モ矢張金錢ヲ取上ルガ其人ヲ懲ラスニ於テ至極適當ノ處分ナルガ故ナリ斯様ノ例ハ後ノ條々ニモ多クアリテ珍ラシカラス

第二百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニ

シテ止タ正犯人使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

前條ノ製造、輸入、販賣ノ罪ヲ犯シタリトモ自身ハ其事ノ張本人ニ非スモテ唯其仕事ニ付キテ賃錢ヲ受クル職人カ又ハ其奉公人ニテ全ク張本人タル雇主ノ指圖ニ從フテ使ハレタル者ナルトハ前條相當ノ刑ニ引合セ二段減シテ罰スルナリ例ハ銃砲彈藥製造ノ職人并ニ其輸入ノ雇人ナレハ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮ト十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ申付ケ販賣ノ雇人ナレハ十五日以上六箇月以下ノ重禁錮ト五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ルヲ云フ全體二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト爲シ各自ニ其刑ヲ科スト總則第四百四條ニ見ユタレハ職工雇人トテモ共々其罪ヲ犯サハ孰レモ正犯トシテ



同刑ニ行ハルベキ管ナレハ此條ノ職人雇人ノ如キハ全  
ク給金ノ欲シキガタメニ使ハレタル者ニテ深キ惡心ア  
リテシタルニアラテハ斯ク別法ヲ設クル者ナリ

第二百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサ  
ル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

前二條ノ犯罪ハ孰レモ輕罪ニ當ル者ナレハ至極アブナ  
ク多キ惡事ナレハマダ其事ヲ仕遂ケヌ者モ總則第一百  
二條ニ定メアル未遂犯罪ノ例ニ引合セテ一段カ二段減  
シテ罰スルナリ

第六十條 第一百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所  
有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前ノ第一百五十七條ニ書載セアル銃砲彈藥其外破裂質ノ  
品物ヲ内々所持スルモ亦危險ノ恐レアリ故ニ二圓以上

二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第六十一條 第一百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造  
ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人  
ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス

第一百五十七條ニ書載セアル銃砲類ノ製造ニ用ヒタル器  
械ハ總則第四十三條ニ謂ヘル犯罪ノ用ニ供シタル物件  
ナレハ同第四十四條ノ規則ニ從ヒ犯人ノ所有ニ係リ又  
ハ所有主ナキ時ノ外ハ之ヲ沒收スルヲ得ヌ者ナレハ  
之ヲ民間ニ存シ置キテハ他日復タ如何ナル危險ヲ生ゼ  
ノモ計ラレテハ其器械ノヒトニ軍用品製造ノ用ニ  
ニ供フベキ分ニ限リ彼ノ禁制物ヲ取上ル例ノ如ク誰レ  
ノ持物ト云フヲ問ハス皆士官ニ取上ルナリ此沒收ハ一  
種例外ノモノユエ第四十三條ノ但書ニ應シテコトニ其



例ヲ示メシタルナリ

### 第六節 往來通信ヲ妨害スル罪 凡九條

往來トハ通行ノ義ナリ通信トハ音信ヲ通スル義ナリ凡ソ往來通信ノ安全ナルハ人類仲間ノ最モ大切トスル所ナルニ若シ人アリテ之レニ妨害ヲ加ヘタラソニハ夫レガマメ商業ハ衰微ニ赴キ世間ノ交際モ塞ガルルニ至ルヘケレバ刑法ハ之ヲ公益犯罪ノ中ニ加ヘテ其仕業ヲ罰スル者ナリ

第六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

道路橋梁河溝港埠ヲ故意損壞シテ人ノ通行ノ邪魔シタル者ハ二箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ二圓以

上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

此條ハ自分ノ不便利トナルカ又ハ損トナルカ或ハ故モナキ亂暴等ヨリ詐偽ノ計畧ヲ以テ郵便脚夫ヲタダシカシ又ハ力ヅクヲ以テ脚夫ヲ威シ郵便ノ送り届ケヲ妨ケ或ハ之ヲ止メサセタル者ハ矢張前條ト同ク罰スル旨ヲ定ムルナリ

第六十四條 電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ爲スト雖モ不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

往來通信ヲ妨害スル罪



電信機ハ八里離レタル山中ナドニモ掛ケ渡シアル者ニ  
 エ之ヲ破損スルハ甚ク爲シ易キ仕事ナルノミナラス電  
 信ハ一秒時間ヲモ争フ至急ノ用事ノミニテ政府ノ音信  
 ハ勿論人民ニ取リテモ商業向ナドニ甚ク肝要ナル者ナ  
 レハ總テ電信ニ用ル器械ヤ道ハタニ建連ラテアル柱ヲ  
 打毀ハシ又ハ條線トテ針金ヲ斷テ切リナドシテ電氣ノ  
 通ハヌヤウニシタル者ハ其罪前條ノ郵便ヲ妨ケタルニ  
 リハ重キユエ此レニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ  
 又右ノ如ク電信ノ妨害ハ爲シタリトモ若シ何ニカ差支  
 ナドアリテ電氣ノ通ハス迄ニ至ラヌ時ハ前ノ不通ニ致  
 シタル者ト同様ノ罰ニ行フハ不穩當ユエ此者ハ前ノ刑  
 ニ一段ヲ減シ二箇月八日以上二箇年三箇月以下ノ重禁  
 錮三圓七十五錢以上三十七圓五十錢以下ノ罰金ヲ申付

第六十五條 瀛車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ヒ其  
 標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者ハ重懲  
 役ニ處ス

ルナリ此外電信ニ付テノ犯則ハ別ニ電信條例ノ定メア  
 レハ其條例ニテ罰サレ、ナリ  
 蒸氣車ノ往來ヲ妨クルタメ鐵ノ道敷并ニ標識トテ見印  
 ノタメ建テ設ケアル木ヤ燈火ナドヲ破損シ其他危險ナ  
 ル障礙トテ道敷ニ木片ヤ石瓦ナド横タヘ、アブナキ惡作  
 チナス時ハ瀛車ガ脇道ニソレ或ハ衝當リ或ハ覆ヘリナ  
 ドシテ往來ノ邪魔ハ言フ迄モナク乗客ノ生命ヲモ害ス  
 ベキ恐レアリテ職ニ容易ナラヌ仕業ナレバ前ノ電信器  
 械ヲ破損シテ通信ヲ妨クルバガリノ仕業ナド、ハ同例  
 ニ罰スベカラス故ニ之ヲ重罪トナシ重懲役トテ九箇年



以上十一箇年以下ノ懲役ニ行フナリ此外鐵道ニ付テノ  
犯則ハ別ニ鐵道罰則ノ設ケアノハ其罰則ニテ處分サル  
ヘシ

第六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標其  
他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐僞ノ標  
識ヲ點示シタル者ハ亦前條ニ同シ

船舶ノ通行ヲ妨グルタメニ燈臺トテ夜中陸地ノ方角ヲ  
知ラスタメニ岬ナドニ設ケアル燈明臺ヤ又ハ浮標トテ  
海中ニ隱レタル岩礁ヲ知ラスタメノ見印其外渡海ノ安  
穩ヲ得サセンタメノ見印ヲ破損スルカ又ハ詐僞ノ見印  
ヲ點示テ渡海ノ方角ヲ誤ラセタル迄ニテ船ニ別條ノナ  
キ者ハ矢張前條ト同シ重懲役ニ行フナリ若シ夫レガタ  
メ難船ニ至ラセタル者ハ後ノ第六十九條ニ依テ罰サ

ルハナリ

第六十七條 前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル  
官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一  
等ヲ加フ

前ノ第六十二條以下ノ五箇條ニ書載セアル道路橋梁  
郵便電信鐵道燈臺浮標ノ仕事ニ付政府ヨリ使ハル、役  
人カ又ハ其雇人カ職人タル身ニテ役目ヲモ願ミス自親  
ニ其罪ヲ犯シタル時ハ夫々相當ノ刑ヨリハ一段重ク罰  
スルナリ例ヘハ第六十二條并ニ第六十三條ノ犯罪  
ナレバ二箇月十五日以上二箇年六箇月以下ノ重禁錮ト  
二圓五十錢以上二十五圓以下ノ罰金ヲ申付ケ第六十  
四條ノ犯罪ナレハ三箇月二十二日以上三箇年九箇月以  
下ノ重禁錮ト六圓二十五錢以上十二圓五十錢以下ノ罰

往來通信ヲ妨害スル罪



金ヲ申付ケ電氣ノ不通ニ至ラヌ者ハ二箇月二十三日以上二箇年九箇月二十二日以下ノ重禁錮下四圓六十八錢以上四十六圓八十七錢以下ノ罰金ヲ申付テ第六十五條并ニ第六十六條ノ犯罪ナレハ有期徒刑ニ行フヲ云フ額ナリ

第六十八條 第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷

シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六十二條ノ道路橋梁河溝港埠ヲ損壞スルハ人ヲ殺シタリ傷ツケタリスルガタメニハ非スシテ全ク往來ヲ邪魔スルタメノ犯罪ナレハ若シ夫レガ爲メニ通行人が川ニ落ナナドシテ命ヲ失ヒ又ハ疵ニテモ負ヒタル時ハ素ト其者が往來ヲ妨害シタルヨリ出テタル事ナレハ毆

打創傷トテ第二百九十九條以下ニ定メアル口論ナドノ末人ヲ打擲シテ疵ヲ負ハセ又ハ死亡ニ至ラセタル罪ノ鈎合ヲ取り其箇條々々ヨ引合セテ孰レカ重キ方ニ處斷スルナリ例ヘハ人ヲ篤疾ニ至ラセタル時ハ第三百條ノ方が重キユエ之ニ依テ輕懲役ニ行ヒ人ヲ疾病ニ至ラセ休業サスルコト二十日マデノ時ハ第六十二條ノ方が重キユエ之ニ依テ二箇月以上二箇年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルヲ云フ

第六十九條 第六十五條第六十六條ノ罪ヲ犯シ

因テ瀛車ヲ顛覆シ又ハ船ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

第六十五條第六十六條ノ鉄道船舶ノ往來渡海ヲ妨害スル罪ヲ犯シソレガタメニ遂キニ瀛車船舶ヲ覆ヘシ



タル時ハ假令ヒ死人ハナクモ生涯ノ徒刑ニ行ヒ若シ死  
人アリタル時ハコレヲ死刑ニ行フナリ

第七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未  
ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

此第六節中ニ書載セアル犯罪ハ至テ性質ノ惡シキ者ナ  
レバ其中ノ輕罪ヲ犯サントシテマダ仕遂ケヌ者ト云ヘ  
ル總則第百十二條ノ未遂犯罪ノ例ニ引合セ早ヤ仕遂ケ  
タル者ノ刑ヨリ一段又ハ二段減シテ處斷スルナリ

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪 凡三條

人ノ住所ハ其人ノ身體ヲ守ル城郭トモ謂フヘキモ  
ノコテ他人ガ案内モナクテ妄リニ立入ルベキ場所  
ナラズバ晝間夜中ノ差別ナク又如何ナル存意アリ  
テシタル夫間ハス人ノ住所ニ用モナクテ妄リニ立

入り主人ノ安居ヲ妨ケタル者ハ之ニ有罪トシテ罰  
スル旨ヲ此節ニ定ムルナリ

第七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人

ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ十一日以上六月  
以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ左ニ記載シタル所爲アル時ハ一等ヲ加フ

晝間トハ日ノ出ヨリ日ノイリ迄ヲ謂フ  
晝間是レゾトイフ用事モナキニ人ノ住居スル屋敷并ニ  
人ノ起居スル家屋又ハ平日人ノ番チスル學校役所製作  
所ナド總テ建家ノ内ニ入りタル者ハ別段犯罪ノ事ハナ  
クモ斯ク案内モナクシテ人ノ屋敷ニ立入ルハ元來怪シ  
ムヘキ仕業ナルノミナラズ人ノ安居ヲ妨ケル者ナレバ  
唯立入りタルノミナラズ十一日以上六箇月以下ノ重禁錮



ニ行フナリ  
 若シ左ニ書載セタル仕業ノ一個ニテモアル時ハ(三個以上アルモ同シ)人ノ恐レモ深ク之ヲ防クニモ難キユエ一段加ヘテ十三日以上七箇月十五日以下ノ重禁錮ニ行フナリ

一 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又鎖鑰ヲ開キテ入りタル時  
 門戸トハ門并ニ戸口ヲ謂フ牆壁トハ塀并ニ垣ヲ謂フ踰越トハ乘リ越ルヲ謂フ鎖鑰トハ錠前掛鎖類ヲ謂フ

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入りタル時  
 兇器トハ人ヲ殺ス可足ル刃物類ヲ謂フ其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品トハ鋸、鑿、偽鑰、ナド竊盜ノ用具トナルベキ品物并ニ此類ノ用ニ當ツベキモノヲ謂フ携帯トハ所

持スル義ナリ

三 暴行ヲ爲シテ入りタル時

暴行トハ人ヲ推倒フスナド亂暴狂辯ノ仕業ヲ謂フ

四 二人以上ニテ入りタル時

二人以上ハ人ノ之ヲ防キ止ルヲ難ク害ヲナスヲノ身キモノユエ斯ク加重ノ法ヲ設クルナリ

右四箇ノ變例ハ人殺カ強竊盜ニテモ働ク所存ノ者ナラ

テハ犯ズマシトノ疑念ハアレハ唯人ノ邸宅ニ入りタルノミヨテハ慥カニ夫レトハ定メ難キユエ斯様ノ罪ノ未遂犯トハ見做サズシテ邸宅ニ入ル罪トシテ罰スルナリ

第七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ一月以上一年以上以下ノ重禁錮ニ處ス

人ノ住所ヲ侵入罪



若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所爲アル時ハ一等ヲ加フ

此條ハ前條ト同趣意ニ出ル者ニテ唯晝ト夜ノ別アルノミナリ夜間(日ノ入り日ノ出マデヲ謂)ハ晝間ト違ヒテ之ヲ防グ人モ少ク防グ人ノ少キヨリ其事ヲ爲スモ易ク隨テ其害ノ大イナルユエ前條晝間ノ犯罪ヨリハ刑ヲ重クシ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ若シ又前條四箇ノ加重スベキ仕業アル時ハ其上更ニ一段ヲ加ヘ一箇月七日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第七十三條

故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵内ニ入りタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

皇居トハ天子ノ御住居ヲ謂フ禁苑トハ天子ノ御庭離宮トハ別御殿行在所トハ行幸サキノ假御所皇陵トハ御墓

所ヲ謂フ天子ノ尊キヲ憚ラズ斯樣ノ場所ニ正當ノ用事モナキニ立入りタル者ハ前ノ第七十一條同二條ノ例ニ引合セ夫々一段加ヘテ罰スルナリ例ハ晝間此罪ヲ犯ス者ハ十三日以上七箇月十五日以下ノ重禁錮ニ行ヒ夜間ナレハ一箇月七日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ又第七十一條ノ四目中ノ所行アル者ハ右ノ刑ニ一段ヲ加ヘ晝間ノ分ハ十六日以上九箇月以下夜間ノ分ハ一箇月十五日以上一箇年六箇月以下ノ重禁錮ニ行フ類ナリ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪 凡三條

此節ハ官署ヨリ他人ノ手ヲ若クヌヤウニ封印シタルモノヲ妄リニ破リ棄ル罪ヲ定ムルナリ

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他

官ノ封印ヲ破棄スル罪



ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

官署ノ處分ニ因リ別段ニ家屋倉庫其外ノ品物ニ付ケ施シタル封印例ヘハ銃砲彈藥ヲ内々製造シタル者アリテ其罪ノ吟味中製造所ニ封印シテ人ノ出入ヲ差止メ又ハ分散人ノ倉庫ヘ大藏省ヨリ封印ヲ付ケテ品物ノ出入レヲ禁シ又ハ罪人ノ吟味中裁判所ヨリ證據物ノ紛失ヲ防クタメニ之レニ施シタル封印ナドヲ妄リニ破リ棄ツルニ於テハ假令ヒ本人ハ其品物ニ手ハ着ケヌモ外ノ者が搔キ亂シ盜取ルナド大ニ妨害ヲ與ル者ユニ唯封印ヲ破リ棄テタルノミニテ二箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

若シ其封印ノ場所ヤ品物ニ人ノ妨害ナキヤウニ役目ヲ以テ取締ルベキ番人ノ身ニテ却テ自親ニ破棄ノ罪ヲ犯シタル時ハ其役目アル者ダケニ常並ノ人ヨリハ一段ヲ加ヘ二箇月十五日以上二箇年六箇月以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第一百七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

前條ノ如クニ唯封印ヲ破リタルハカリテナク内ニアル品物迄モ盜取ルカ又ハ打毀ハスカシタル者ハ前條破棄ノ罪ト第三百六十八條以下ノ盜賊ノ罪并ニ第四百十七條ノ品物ヲ打毀ハシタル罪ノ箇條々々ニ引合セ前條破毀ノ方が重ケレハ此レニ從ヒ盜罪并ニ毀壞ノ方が重ケ



レハ夫ニ從ツテ處斷スルナリ例ハ前條ノ封印ヲ破リ  
 テ品物ヲ盜メハ第三百六十八條ノ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫  
 ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ニ引合セ六箇月以上五箇年  
 以下ノ重禁錮ニ行ヒ若シ強盜ヲ働キタル時ハ第三百七  
 十八條ニ引合セテ輕懲役ニ行ヒ若シ番人が自親ニ犯シ  
 タル時ハ第二百八十九條ニ引合セテ輕懲役ニ行ヒ又官  
 署ヨリノ封印ヲ破リ証書類ヲ破リ棄テタル時ハ第四百  
 二十四條ノ二箇月以上四箇年以下ノ重禁錮三圓以上三  
 十圓以下ノ罰金ヲ申付ケ若シ品物ヲ毀ハシタル時ハ第  
 四百二十一條ニ照セハ十一日以上六箇月以下ノ重禁錮  
 ニ當リ前條官ノ封印ヲ破棄スル方が重キニハ前條ノ二  
 箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ニ行フ類ナリ

**第二百七十六條** 看字者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ

其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル時ハ二  
 圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前々條封印ノ番ヲナス者が油斷ノタメニ封印ヲ破リ又  
 ハ其品物ヲ盜取リ或ハ打毀ハス犯罪人アルヲニ必付カ  
 マシテ其犯罪ヲ仕遂ケサセタル者ハ前ノ囚人ノ逃亡ニ  
 必付カヌ番人ノ罰ト同ク二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ  
 申付ルナリ

**第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪 凡五條**

此節ハ公務トテ政府ノ用向ハ勿論人民總體ニ關カ  
 ル義務ヲ行ハヌ罪ヲ定ムルナリ

**第二百七十七條** 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權  
 アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル  
 時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十



圓以下ノ罰金ヲ附加ス

陸海軍ノ將校トハ現ニ兵隊ヲ指揮スル職分アル陸軍海軍ノ士官ヲ謂フ出兵ヲ要求スル權アル官署トハ府縣廳ノ繰出ヲ求ムルヲ謂フ斯樣ノ時ニ當リテ假令其一揆内亂ヲ助クル心底ハナクモ(若シ有レハ其犯人ト同シ罰セラル)別ニ是レゾト云フ事故モナキコ兵隊ノ繰出ヲ肯ガハス時ハ一揆内亂ヲ防キ止ムル機會ヲ失ヒ平常兵隊ノ備ヘアル甲斐ナキコエ此仕業シタル士官ハ本文定ムル所ノ輕禁錮ト罰金ヲ申付ルナリ斯レ定役ナキ輕禁錮ヲ用ル譯ハ全ク職務上ノ犯罪ユエコ外ノ常事犯ト區別ヲ爲シ聊カ輕シ罰スル者ナリ

第百七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可キ者身體

ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應ゼシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應シタル者ハ第百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

兵隊トナリテ國家ノ守護ヲ務ムヘキハ人民タルモノガ當然ノ役目ナルニ陸軍海軍ヨリ召シ出サル、兵隊ニ組入レラルヘキ身分トシテ故意已レノ身體ニ傷ツケ病氣ヲ拵ラヘ其外作狂トナリ或ハ僞リノ聲嚙トナルナド總テ僞リノ仕業ヲ以テ其役ヲ免レント企テタル者ハ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付クルナリ



若又徵兵ニ當ラヌ外ノ人ニダノミ己ガ姓名ヲ詐ハシセ  
テ名代ニ出シ政府ヲ誑カラントシタル者ハ亦前ト同様  
ノ罰ニ行ヒ其タノミヲ受ケテ名代ニ出タル者ハ第二百  
三十一條ノ身分ヲ訴ル罪ニ依テ處斷スルナリ

第七十九條

醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解  
剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故テクシテ之ヲ肯  
セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

化學家トハ舍密家ノ事ニテ萬ノ物質ヲ解キ分ケ見ル學  
者ヲ謂フ解剖トハ人類畜類ノ死體ヲ解キ分ケ死亡ノ原  
因ヲ見分クルヲ謂フ分析トハ物ノ性質ヲ藥ニテ解キ分  
ケ其包含ヲ見ルヲ謂フ鑑定トハ何ニ限ラス總テ目利ト  
トヲ謂フ

毒害ナドノ怪シキ死人アリタル時其筋ニテ醫者ヲ招キ

死骸ノ解剖ヲ申付ケ或ハ化學者ヲ呼出シテ其毒ノ分析  
ヲ申付ケ又ハ兩替屋ニ贖金ノ目利ヲサスルナド總テ其  
人ノ職業ニ付何ナリト言付テ下ダシタルニ別段正當ノ  
事故モナクテ其言付ニ從ハヌハ人民タル者ノ役目ニ背  
キ其筋ノ事務ノ採取ヲ妨クル者ナレバ此ソニハ四圓以  
上四十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第八十條

裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スル  
ヲ命セラレタル者故テクシテ之ヲ肯セサル時ハ亦前  
條ニ同シ

凡ソ公事訴訟アル時ニハ裁判官ガ原被雙方ノ曲直ヲ取  
糾スタメニ其事ニ關係アル人々ヲ呼出シ之ヲ證據人ニ  
立タセテ證據トナルヘキ事柄ヲ述ベサスルヲアリ此申  
述ヲナスコトハ人民タル者ノ國家ニ對スル役目トナレ



ハ是非其問ニ應シテ申述ヲナサバナラヌモノナルコ  
一方ノ相手が自分ノ親類ニ當ルトカ又ハ己レハ其人ノ  
後見ヲ勤ムルトカ(親類後見人又ハ雇人ナレハ証人トナ  
ルコトハナラヌ者ナリ但参考ノクメ尋テ受ル時ハ此限ニ  
アラス)又ハ病氣ヲ出頭ガ出来ヌトカノ正當ナル事故モ  
ナキニ出頭セズ又出頭シテモ申述ヲナサヌ時ハ其罪前  
條ト同様ナレハ、ソレト同シ四圓以上四十圓以下ノ罰金  
ヲ申付ルナリ

第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑ヒアル  
船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ  
方法ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ  
肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一

等ヲ減ス

傳染病トテ虎烈刺其外人ニ移リ傳ハルヘキ惡疫ノ流行  
スル時又ハ流行病ニ罹リタル者ノ乗組居ルベシトノ疑  
念アル船舶ノ或港ニ入來ルニ當リテ醫者が役所ヨリ其  
病氣ヲ検査スルコト又ハ其病氣ヲ絶ヤスニハ如何ナル仕  
方ヲ用フヘキヤ委細ノ申述ヲ言付ケラレタル時ハ早速  
其病人ヲ検査シ仕方ヲ申述ベシハナラヌハ醫者職業ヲ  
ナス者ノ役目ナルニ若シ相當ノ事故モナキニ言付通り  
ニナサヌハ官命ニ背キ公務ヲ行ハヌ者ナレハ此レニハ  
本文ノ罰金ヲ申付ルナリ  
又畜類ニ傳染病ノハヤル時節ニ當リテ畜類醫ヲ職業ト  
スルモノガ別段是レゾト云フ事故モナキニ此條役所ノ  
言付ニ背キ其病氣ノ診察ヲ爲サズ消滅ノ仕方ヲモ申述



ヘヌ時ハ撲滅ノ機會ヲ失ヒ農事ノ害トナルト少ナカラズサレモ畜類ノ病氣ダケニ人類ノ病氣ノ如クハ其罪トテモ重カラヌ故罰モソレヨリハ一段チ減シ三圓七十五錢以上三十七圓五十錢以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第四章 信用ヲ害スル罪

凡九節 五十五條

凡ソ世ノ中ノ事ハ大概皆相互ノ信義ニ因テ立ツモノナレバ政府ニモ人民ニモ商賈ニモ職工ニモ若シ信義ヲ離レテ互ニ偽計ヲ勤ムルヤウニテハ世ノ中ハ逆モ安穩無事ニハ立行マシキナリ、サレバ虛言詐偽ハ此廣キ世ノ中ニハ數限リモナキト云ヘ微細ノ事マデ一々罰大ル譯ニモ行カチバ世間一體ニ及フモノト他人ニ損耗ヲ掛シル下ノ大ヒナル者トテ此刑法ニテ罰スルナリサレバ先ヅ此章ニ於テ世間一體ニ係ル信用ヲ害スル詐偽

ノ罪ヲ定メ餘ハ第三編ノ中ニ掲グルナリ章中九節ニ分レ其目ハ貨幣ヲ偽造スル罪、官印ヲ偽造スル罪、官ノ文書ヲ偽造スル罪、私印私書ヲ偽造スル罪、免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪、偽証ノ罪、度量衡ヲ偽造スル罪、身分ヲ詐稱スル罪、公選ノ投票ヲ偽造スル罪ナリ

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪 凡十二條

貨幣トハ其時國內ニ通用スル金銀銅貨并ニ紙幣ヲ云フ偽造トハ贋ヲ造ルヲ曰フ性違ヒノ金屬ニテ眞物ニ贋ルハ勿論假令ヒ眞物同様ノ品ニテ造ルモ政府ニテ造ルモノニアラヌ以上ハ總テ偽造トナス者ナリ又金銀貨ノ縁邊ヲ削リ取り紙〇ノ數字ヲ書替ヘタルモ亦タ此節ニテ罰スルナリ

第百八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ

紙幣ヲ偽造スル罪



行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

凡ソ貨幣ハ物ト物トノ交易ヲ媒介スル重寶ニシテ物價  
高低ノ定規トモ謂フヘキモノナレハ聊カタリトモ之ニ  
偽リチ交フルルハ忽チ世間ノ融通ヲ塞キ復タ昔時物々  
交換ノ不便ヲ見ルニ至ルヘシサレハ此條日本國內ニテ  
通用貨幣ト定メ政府ヨリ發行サレタル金貨銀貨并ニ紙  
幣ヲ偽造スル例ヘハ銀臺ニ減金シテ金貨トナシ銅臺ニ  
銀ヲキセテ銀貨ト見セカケ又ハ銅版ヲ贗セテ紙幣ヲ造  
リナドシテ之ヲ行使スラン者ハ其罪重ク其害大ナルユ  
ニ使ヒタル金高ノ多少ニ拘ハラヌ孰レモ生涯ノ徒刑ニ  
行フナリ  
若シ變造トテ眞貨ノ量目ヲ減ラシ又ハ文字ヲ變ヘ造ル

例ヘハ金銀貨ノ縁邊ヲ削リテ其量ヲ減ラシ或ハ紙幣一  
圓ノ文字ヲ十圓ニ書變ヘナドシテ世間ニ使ヒ用ルルハ  
忽チ信用ヲ失ヒ融通ノ害トナルヲ抄ナカラスサレハ前  
ノ偽造ニ比ブレハ其仕事モ小サリ利ヲ得ルヲモ少ク又  
人ノ見分ルロモ見分ケ易ケレバ自然之ヲ犯ス人モ少ク  
之ヲ罰スルニモ左迄嚴重ノ刑ヲ用ルニハ及バヌユニ偽  
造者ノ罰ヨリハ二段ヲ輕クシ輕懲役ニ行フナリ  
此條ノ要領ハ内國通用ノ貨幣ト之ヲ偽造スルト行使ス  
ルトト三ナリ故ニ外國ノ貨幣ハ勿論日本ノ貨幣トテモ  
其時通用セヌ舊貨幣ノ如キハ之ヲ偽造スルモ此條ニテ  
ハ罰セヌ者ナリ外國ノ貨幣ニ付テハ下條ニ見ユ舊貨幣  
ノ偽造ハ後ノ詐僞受財ノ部ニ於テ罰スルナリ又偽造變  
造ノヨニ未タ使ヒ出サヌ者ハ第百八十六條ニテ罰セ



ヲル、ナリ

第百八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス  
若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

日本國內ニテ通用スル外國ノ金銀貨即チ英金洋銀ナドヲ偽造シテ使ヒ出ダスハ日本ノ貨幣ヲ偽造スルト其偽造ニハ異リナケレド外國ノ貨幣ダケニ其通用モ狹ク隨テ其害ノ及フ所モ廣カラヌニ日本ノ貨幣ヲ偽造シタル者ノ罰ニヨリ一段下ノ有期徒刑ニ行ヒ其變造モ前ノ輕懲役ヨリ一段下シテ本支ノ重禁錮ニ行フナリ

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從

ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

官ノ許可ヲ得テ通用サスル銀行ノ紙幣ヲ偽造變造シテ行使スルハ政府ノ紙幣ヲ偽造變造シテ行使スルト其害聊カ異ナルコトナシ故ニ内外國ノ區別ニ從ヒ内國ノ分ナレハ第百八十二條ニ引合セテ無期徒刑カ輕懲役ニ行ヒ外國ノ分ナレハ前條ニ引合セテ有期徒刑カ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

銅貨(天保錢文久錢類モ此中ニ在リ)ハ通用金ノ中ニテ尤モ價格ノ低キモノナレハ之ヲ偽造スルモ手間ノ多ク

貨幣ヲ偽造スル罪



シテ利益少ナク隨テ其惡事モ稀レナル道理ニテ世間ノ害モ多カラヌユエ前ノ金銀貨并ニ紙幣ヲ偽造スル罪ト同一ニハ罰スヘカラス、サレドモ亦同ク國寶ノ一ナレハ輕罪ノ部ニ入ル、モ餘リ輕ク過グルユエ重罪中ノ尤モ輕キ輕懲役ニ行ヒ變造ハ其罰ヨリ引下ケテ輕罪トナシ一箇年以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ。

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已

ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ二等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル者ハ各三等ヲ減ス

前數條ニ書載セアル内外國ノ金銀貨紙幣并ニ内國ノ銅貨ヲ偽造又ハ變造シテ早ヤ其成就ハシタリシモマダ使

ヒ出サヌ者ハ其害ノ世間ニ及ハヌ中ナレハ前條々ニ定メアル夫々相當ノ刑ヨリハ二段引下ケテ罰ヲ行ヒ若シ手ヲ着ケタルバカリニテマダ成就セヌ者ハ右相當ノ刑ヨリハ二段引下ケテ罰スルナリ

若シ偽造ニ用ラル模<sup>イカダ</sup>型版木其外入用ノ道具ヲ用意シタルバカリニテマダ偽造ニ着手ナサヌ者ハ相當ノ刑ヨリ三段引下ケテ罰スルナリ

今此條ノ例チ一々掲ケ示サシニ第百八十二條ノ貨幣ヲ偽造シテ未タ行使セヌ時ハ一段減シテ有期徒刑ニ行ヒ未タ成就セヌ者ハ二段減シテ重懲役ニ行ヒ其器械ヲ豫備シテ未タ着手セヌ者ハ三段減シテ輕懲役ニ行ヒ變造シテ未タ行使セヌ者ハ一段減シテ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ未タ成就セヌ者ハ二段減シテ一箇年



六箇月以上三箇年九箇月以下ノ重禁銅ニ行フ  
 又第百八十三條ノ金銀貨ヲ偽造シテ未タ行使セヌ者ハ  
 一段減シテ重懲役ニ行ヒ未タ成就セヌ者ハ二段減シテ  
 輕懲役ニ行ヒ器械ヲ豫備シテ未タ着手セヌ者ハ三段減  
 シテ二箇年以上五箇年以下ノ重禁銅ニ行ヒ變造シテ未  
 タ行使セヌ者ハ一段減シテ一箇年六箇月以上三箇年九  
 箇月以下ノ重禁銅ニ行ヒ未タ成就セヌ者ハ二段減シテ  
 一箇年以上二箇年六箇月以下ノ重禁銅ニ行フ  
 第百八十四條ノ内國ノ銀行紙幣ヲ偽造シテ未タ行使セ  
 ヌ者ハ一段減シテ有期徒刑ニ行ヒ未タ成就セヌ者ハ二  
 段減シテ重懲役ニ行ヒ其器械ヲ豫備シテ未タ着手セヌ  
 者ハ三段減シテ輕懲役ニ行ヒ變造シテ未タ行使セヌ者  
 ハ一段減シテ二箇年以上五箇年以下ノ重禁銅ニ行ヒ未

タ成就セヌ者ハ二段減シテ一箇年六箇月以上三箇年九  
 箇月以下ノ重禁銅ニ行ヒ又外國ノ銀行紙幣ヲ偽造シテ  
 未タ行使セヌ者ハ一段減シテ重懲役ニ行ヒ未タ成就セ  
 ヌ者ハ二段減シテ輕懲役ニ行ヒ器械ヲ豫備シテ未タ着  
 手セヌ者ハ三段減シテ二箇年以上五箇年以下ノ重禁銅  
 ニ行ヒ變造シテ未タ行使セヌ者ハ一段減シテ一箇年六  
 箇月以上三箇年九箇月以下ノ重禁銅ニ行ヒ未タ成就セ  
 ヌ者ハ二段減シテ一箇年以上二箇年六箇月以下ノ重禁  
 銅ニ行フ  
 第百八十五條ノ銅貨ヲ偽造シテ未タ行使セヌ者ハ一段  
 減シテ二箇年以上五箇年以下ノ重禁銅ニ行ヒ未タ成就  
 セヌ者ハ二段減シテ一箇年六箇月以上三箇年九箇月以  
 下ノ重禁銅ニ行ヒ器械ヲ豫備シテ未タ着手セヌ者ハ三



段減シテ一箇年以上二箇年六箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ  
 變造シテ未タ行使セヌ者ハ一段減シテ九箇月以上二箇  
 年三箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ未タ成就セヌ者ハ二段減  
 シテ六箇月以上一箇年六箇月以下ノ重禁錮ニ行ラザリ  
 第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇ヲ受  
 ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑  
 ニ照シ各一等ヲ減ス  
 若シ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ  
 刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

貨幣ノ偽造變造ト云フヲ知リツ、其者ヨリ雇ヲ受ケテ  
 偽造變造ノ仕事ヲ働キタル職人并ニ雜役者ハ雇主ト共  
 ヲ其事ニ從ヒタル者ナレバ總則第四百四條ニ依テ皆正犯  
 トセラルヘキ者ナレバ第百五十八條ノ私ニ銃砲彈藥ヲ

製造シタル職工雜役ト同ク唯賃錢ノ欲シキガタメニ雇  
 ハレタル者ニテ深キ惡心アリテ爲シタルニアラザレバ其  
 雇主ト同刑ニ行フハ少ク嚴重ニ過グルナリ、サレバ職工  
 ハ偽造變造ニ付尤モ必要ノ道具トモ云スヘキ者ニテ外  
 ノ雜役ニ使ハレタル者トハ固ヨリ同様ナルベキニアラ  
 ザレバ此レハ前數條ニ書載セアル本犯人ノ受クヘキ刑ヨ  
 リ一段ヲ減シ乾燥、桃木、打炭ナド其小事ニ使ハレタル雜  
 役者ハ職工ノ刑ヨリ一段カゴ段減シテ罰スルナリ

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ  
 給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス  
 凡ソ金銀銅貨并ニ紙幣ヲ偽造變造スルニハ他人ニ知レ  
 難キ場所ヲ撰ムガ肝要ナルヘシヤレバ其情ヲ知リテ之  
 ニ部屋屋敷ヲ與フルハ惡事ノ手助ケスルト同様ナレバ



之ヲ與ヘテ屋賃ヲ取ル取ラヌコ拘ハラズ偽造ナレバ偽造者相當ノ刑ニ二段減シテ罰スルナリ

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

自親ニ偽造カ變造ハセヌモ人ノ偽造カ變造シタル金銀銅貨紙幣ヲ外國ヨリ内國ニ送り入ルハ其害自親ニ偽造變造シタルト同様ナレバ其輸入ノ貨幣ガ日本ノ通用貨幣ナルト日本國內ニテ通用スル外國ノ貨幣ナルトノ差別ニ從ヒ前數條ニ定メタル偽造變造ノ刑ト同ク罰スルナリ

第百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照

シ各二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス

偽造變造トイフヲ知リテ其貨幣ヲ低價ニ買取リ又ハ其人ノ頼ミニ應シテ造ヒ拂フタメニ之ヲ受取リ世間ニ使ヒ出シタル者ハ自親ニ偽造變造シテ使ヒ出シタル者ノ刑ヨリ二段減シテ罰シ唯受取リタルバカリニテ未ダ使ヒ出サスルハ三段減シテ罰スルナリ例ヘハ第百八十二條ニ書載セアル貨幣ノ偽造ヲ受取リテ使フタル者ハ重懲役ニ行ヒ其變造ヲ受取リテ使フタル者ハ一箇年六箇月以上三箇年九箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ、マダ使ハヌ時ハ偽造ナレハ輕懲役ニ行ヒ變造ナレハ一箇年以上二箇年六箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ又第百八十三條ニ書載セアル偽造ノ金銀貨ヲ受取リテ使フタル者ハ輕懲役ニ行ヒ、



マダ使ハヌ者ハ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ  
 其變造ヲ受取リテ使フタル者ハ一箇年以上一箇年六箇  
 月以下ノ重禁錮ニ行ヒ、マダ使ハヌ者ハ六箇月以上一箇  
 年三箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ又第百八十四條ニ書載セ  
 アル偽造變造ノ銀行紙幣ヲ受取リタル者内國ノ銀行紙  
 幣ナレハ第百八十二條ト同例ニ行ヒ外國ノ分ナレハ第百  
 八十三條ノ例ニ同シ又第百八十五條ニ書載セアル偽造ノ  
 銅貨ヲ受取リテ使フタル者ハ一箇年六箇月以上三箇年九  
 箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ、マダ使ハヌ者ハ一箇年以上二箇  
 年六箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ其變造ヲ受取リテ使フタ  
 ル者ハ六箇月以上一箇年六箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ、マダ  
 使ハヌ者ハ三箇月以上九箇月以下ノ重禁錮ニ行フ類ナリ

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑

ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

此條ノ意ハ前ノ數條ニ書載セアル偽造變造并ニ房屋ヲ  
 給與シ或ハ偽造ノ金銀貨ヲ輸入シ又ハ取受行使スル罪  
 ヲ犯シテ輕罪ノ仕置ニ行フ者ハ後日ノ惡事ヲ豫防スル  
 タメニ其期限ノ濟ミタル後更ラニ六箇月以上二箇年以  
 下ノ監視ニ付スルトナリ是レモ總則第三十八條ニ本條  
 別ニ記載スルト云フニ應シタル箇條ナリ

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入受取シタル  
 者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ本刑  
 ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス  
 若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者未タ行使セサ  
 ル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス  
 金銀銅貨并ニ紙幣ヲ偽造變造シ又ハ外國ヨリ輸入シ或



ハ受取リタル者ガ、マダ之ヲ使ハヌ前ニ於テ自親ニ其惡事ヲ官ニ言出デタル時ハ其害ノマダ世間ニ及ハヌ以前ナレハ早ヤ其事ノ露顯シタルト否トニ拘ハラズ孰レモ相當ノ刑ヲ免シ豫防ソタメニ唯六箇月以上三箇年以下ノ監視ニ付スルナリ

若シ職人又ハ雜事ニ使ハレタル者并ニ部屋屋敷ヲ與ヘタル者ガ前ノ贖金額ヲ少シモ使ヒ出サヌ前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ孰レモ相當ノ刑ヲ免シ別段監視ニモ付セヌナリ

併此條ハ總則第八十八條ニ本條別ニ自首ノ例ヲ掲クト云ヘル箇條ニテ偽造變造ノ罪ニ向ヒ斯ク格別ノ自首法ヲ設ケタル譯ハ第二百二十六條内亂ノ自首者ノ如ク元來其罪ハ大イナルモ、マダ其害ノ世間ニ及ハヌ前ニ在レバ

自首セシクマラニ早ク同類ノ者ヲ召捕リ其害ノ防キモ立ツニエ斯ク格別ノ寛法ヲ設ケテ自首者ク有ルヤウニシタル者ナリ

**第百九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價格二倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降スヲ得ス**

賣買取引ノ節ナドニ於テ真物ト思ヒ貨幣ヲ受取ル後ニ至リテ始メテ偽造變造ト云フヲ知ラハ早速其筋ヘ届出ツヘキ筈ナルニ、サハセズ巴レノ損耗ヲ恐レテ他人ヘ使ヒ渡シタル者ハ其通用ヲ助クル罪アルニ因リ使ヒ渡シタル貨幣ノ價格二倍ノ罰金即チ使ヒタル金高ガ百圓ナレハ二百圓ノ罰金、五百圓ナレハ千圓ノ罰金ヲ申付ルナリ併シ元來罰金ノ少數ハ二圓ヲ降ラヌ規則ナレハ、ソレ



ヨリ以下ニハ一切引下シルヲ許サヌナリ例ヘハ十錢紙幣ノ偽造ト知リテ之ヲ使ヒ出シタルトキハ二倍トスレハ二十錢ノ罰金ナレド二圓以下ノ罰金ハ刑法中ニナキコトユエ矢張二圓ノ罰金ヲ申付ル類ナリ

第二節 官印ヲ偽造スル罪 凡八條

官印トハ政府ノ印形ト云フ義ニテ天子ノ御璽并ニ國璽、諸役所ノ印又ハ記號、印紙、界紙、郵便切手ナド偽造スル罪ヲ皆此節ニ定ムルナリ

第二百九十四條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

御璽トハ天子ノ御印形コトテ天皇御璽ノ四字ヲ刻ミ專ラ勅任官ノ辭令書ニ捺サセ玉フモノナリトゾ國璽トハ日本國ノ印形ニテ大日本國璽ノ五字ヲ刻ミ功臣ニ賜ハル

勳章ニ捺シ外國交際ノ事件并ニ外國派出ノ公使ニ渡ス委任狀ナドニ捺ス者ナリトゾ此等ハ孰レモ内外ノ信憑ヲ得ヘキ大切ノ印形ナレバ若シ之ヲ偽造シ又ハ其偽造ノ御璽國璽ヲ書類ニ使ヒ用フルハ國家ノ大權ヲ侵シ天子ノ御威ヲ汚スノ重罪人ナレハ孰レモ生涯ノ徒刑ニ行フナリ偽造ノ罪ニテ無期徒刑ノ嚴刑ニ行フハ此條并ニ第二百二條ノ詔書偽造ノ罪ト前ニ出テタル内國通用ノ貨幣ヲ偽造スル罪ニ限ル者ナリ

第二百九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

各官署ノ印トハ太政官諸省元老院大審院諸裁判所府縣廳郡區役所戶長役場警察署并ニ其外ノ諸局諸課ノ本印并ニ官員ノ職印(何官何某ト刻シアルモノ)ヲ云フ此等ハ



官署ノ大小ニハ差別アレトモ之ヲ偽造シ使用シテ世間ノ信用ヲ害スルハ同一ニ付執レモ重懲役ニ行フナリ

第百九十六條 産物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

此條ノ官印ハ前條ノ官印トハ別物ニテ産物商品并ニ書籍什物等ニ限リ用ルモノヲ云フ

産物トハ織物、蠶種、生糸、製茶、魚類ノ罐詰、麥酒ノ類ヲ云フ

商品トハ度量衡、荷車、人力車ナドヲ云フ此等ノ物品ニハ官署ヨリ檢印又ハ印章ヲ押シテ其品ノ正實ナルヲ証スルコトアレハ之ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使ヒ用ル者ハ輕懲

役ニ行フナリ

書籍什物<sup>シモノ</sup>ニ押シ用ルモノハ右ノ罪ニ比ブシハ輕シ故ニ本文末段ノ刑ニ行フナリ

第百九十七條 御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

此條ハ偽造ニテハナシ眞物ノ印影ヲ書類ニ盜取ル罪ヲ定ムルナリ

盜用トハ印ヲ盜ミテ紙面ナドニ押シ又ハ盜マズトモ印影ハカリテ押シ取リ或ハ外ノ書類ニ押シアル印影ヲ切リ取リテ書面ニ用フル類ヲ云フ監守者トハ印形印章ノ預リ人ヲ云フ



第九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

各種ノ印紙トハ証券印紙、烟草印紙、毒藥劇藥印紙、預曆印紙ノ類ヲ云フ界紙トハ訴訟用譯紙、証券界紙ノ類ヲ云フ  
第九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

此條ハ一度貼用<sup>ハリモテ</sup>ヒタル諸印紙并ニ郵便切手ヲ再度貼用ヒタル罪ヲ定ムルナリ

第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

此節記載ノ罪ハ孰レモ世間ノ信用ヲ害スル危險ノ惡事ニ輕罪ノ者ト云ヘル總則第百十三條未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷スルナリ

第二百一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

此節記載ノ罪ハ孰レモ信用ヲ害スル危險ノ惡事ニ再犯豫防ノ爲メニ本文定ル所ノ監視ニ付スルナリ

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪 凡六條

官ノ文書トハ天子ノ詔書ヲ始メ諸官署ノ手續、書類并ニ公債証書地券其他役人ノ公証ニ用ル色々ノ書類ヲ云フ偽造ニハ増減變換毀棄ナドモ込メテ云フナリ若シ此等ノ仕業ニ因テ官ノ印形ヲ偽造スル時ハ孰レモ前節ニ照サン重キニ從テ刑ヲ受クヘシ



第二百二條 詔書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

詔書トハ天子ノ勅旨ヲ記シタル御書付ヲ云フ偽造トハ全ク贋セモノヲ造クルヲ謂フ増減トハ御書付ノ文句ヲ書キ加ヘタリ減シタリスルヲ謂フ變換トハ二ノ字ヲ三ノ字ニ書換ヘ許ト云フ字ヲ削リ取リテ禁ト云フ字ニ變フル類ナリ毀棄トハ御書付ノ全紙又ハ其幾分ヲ破リ棄ルヲ云フ

詔書ハ天子ノ全國人民ヘ告ケサセラル、勅旨ヲ記シ又ハ大臣方ヘ仰セ出サル、御詔ノ趣ヲ記ス者ニテ之レアレバ法ヲ廢スベク罪人ヲ赦スベク兵ヲモ興スベク外交ヲ結スベキ甚ク大切ノ御書付ナレバ之ヲ偽造シ増

減シ又ハ變換スルハ唯天子ノ御威ヲ侵スバカリノ罪デナク實ニ國事ヲ亂ル重罪ナレバ假令ヒ共用ハ遂ケズトモ偽造増減變換ノ仕業ノミヨテ生涯徒刑ニ行フナリ又詔書ヲ毀棄スルハ孰レカ勅旨ノ發行ヲ害セント謀ル者ニテ其爲メニスル所ハ前ノ偽造ト同様ナレハ此レモ生涯ノ徒刑ニ行フナリ

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

官ノ文書トハ第九十五條ニ説キタル如ク太政官ヨリ郡區役所戸長役場ニ至ルマテ總テ役所ヲ書類ヲ云フ官ノ文書ハ前條詔書ニ比ブレハ輕キニ本文ノ刑モ之ヲ前條ニ比ブレハ輕キナリ



倍本文ニハ増減變換シテ行使シタル者トアリテ前ノ第百九十五條ノ文言ト同シカラス故ニ此條ハ唯偽造増減變換シタルノミニテ未ダ行使ナサヌ者ハ罰セスナリ是レハ唯ノ書類ハ假令ヒ官名ヲ用ヒタリトモ彼ノ官印ノ如クニ世間ノ信用ヲ得ル者ニアラテハ之ヲ行使セヌ間ハ聊カ害ナキ者ナルガ故ナリサレニ其文書ヲ毀棄スル者ニ至リテハ然ラス之ヲ毀棄シタルノミニテ其文書中ニ書載セアル事件ノ執行ヲ得サラシメ又ハ間違ノ事件ヲ後日ニ傳フルノ害アリテ之ヲ偽造變換シテ實際行使シタルト聊カ異ナル所ナキニテ偽造行使ノ罪ト同シ輕懲役ニ行フ者ナリ

**第二百四條** 公債証書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ

處ス

若シ無記名ノ公債証書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

公債証書トハ政府ガ人民ヨリ借用シタル金銀ノ証書ニテ即チ新舊公債証書、秩錄公債証書、金札引換公債証書、金祿公債証書ノ類ヲ云フ官吏ノ公證シタル文書トハ地所建物ノ質入書入又ハ賣買讓渡ナドノ時官廳又ハ戶長ノ與書證印シタル書類ヲ云フ  
無記名ノ公債証書ニ係ルトハ持主ノ姓名ヲ記サヌ起業公債証書ノ類ニテ誰人ノ手ニ渡ルモ名前書替ナドノ面倒ナク恰モ紙幣ノ如クニ賣買取引ニ便ナル者ナレハ其罪モ一段重ク重懲役ニ行フナリ

**第二百五條** 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ

官ノ文書ヲ偽造スル罪



加フ

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

官吏トハ行政司法ノ本官員ハ勿論準官吏タル者マデモ  
含ムナリ其管掌トハ官員ガ自親ニ受持ツモノヲ云フ受  
持ナルユエニ其罰モ重キ者ナリ

第二百六條

官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ  
又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ  
從テ處斷ス

此條ノ意ハ前條々ニ載セ來ル官ノ文書ヲ偽造シコソニ  
押サンガタメニ官印ヲ偽造シ又ハ真物ノ官印ノ印影ヲ盜  
ニ用ヒタル者ハ前ニ偽造官印ノ箇條アルユエ其箇條々  
々ニ引合セテ孰シカ重キ方ニ捌クトナリ例ハ公債証  
書偽造ノタメニ大藏省ノ印ヲ偽造シ地券ヲ造ルタメニ

府縣廳ノ印ヲ造リタル如キ官印偽造ノ罪ガ重キユエ

第九十五條ニ依テ重懲役ニ行ヒ又地券掛シ役人ガ地  
券偽造ノタメニ府縣廳ノ印影ヲ盜ミタルハ文書偽造ノ  
罪ガ重キユエ第二百五條ニ依テ重懲役ニ行フ類ナリ

第二百七條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕  
罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス  
此節記載ノ犯罪ハ孰レモ皆當然監視ヲ受クヘキ重罪ナ  
レハ本文減輕ニ因リテ云々ト云ヘルナリ

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

凡五條

私印トハ人民銘々ノ實印ハ勿論人ノ信用ニ必要ナル印  
形ヲ云フ私書トハ人民ノ作り用ル書類ヲ云フ此印形并  
ニ書類ヲ偽造増減變換スル罪即チ冒書冒判ノ惡事ヲ此  
節中ニ定ムルナリ

私印ヲ偽造スル罪



第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ他人ノ印影ヲ盜用シタル者ハ一等ヲ減ス

人民銘々ノ實印類ハ公用私用ノ差別ナク之ヲ押シテ確證トスル至極大切ノ品ナレド之ヲ官印ニ比ブレバ大イニ輕重アルノミナラズ官印ハ、モト人民ガ勝手ニ捺ヘ得ベキモノナラチド私印ハ、コレト反對ノモノナレハ官印ノ如クニ唯偽造ノ仕業ノミニテハ罪トナラズ偽造ノ末之ヲ用ヒテ始メテ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ其印影ヲ盜ミ用ルハ之ヲ偽造スルニ比ブレバ輕キユニ官印盜用ノ鈎合ニ依テ一段ヲ減シ四箇月十五日以上三箇年九箇月以下ノ重禁錮三圓七十五錢以上三十七圓五十錢以下

ノ罰金ヲ申付ルナリ  
第二百九條 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若クハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
其手形證書ニ詐偽ノ裏書ヲ爲シテ行使シタル者亦同シ

裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書トハ手形又ハ證書ノ裏ニ我姓名ヲ書入レ之ヲ他人ニ賣渡スモノヲ云フ金額ト交換スヘキ約定手形トハ何月何日マアコ此手形引替ニテ何程ノ金額ヲ渡スヘキ旨記載アル手形ヲ云フ此等ノ書類ハ殆ント現金同様ノ働キアルモノニテ商賣取引上甚々大切ノ者ナリ故ニ本文重罪ニ行フ詐偽ノ裏書トハ自分ノ姓名ヲ記サズシテ作り名ヲ書キ他人ヲ欺ク類ヲ云フ



第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權理義務ニ關スル  
 証書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ四月  
 以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ  
 罰金ヲ附加ス  
 其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者  
 ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓  
 以下ノ罰金ヲ附加ス  
 贈遺トハ他人へ金錢品物ヲ與レ遺ハスヲ云フ交換トハ  
 引替ルヲ云フ權利義務トハ他人ヨリ何物カ受取ルヘキ  
 權利ト他人へ何物カ拂ヒ渡スヘキ義務ヲ云フ其餘ノ私  
 書トハ右私書ノ外手紙又ハ權利モ義務モナキ受取書ナ  
 ドチ云フ  
 此條ノ証書ハ前條ノ証書ノ如クニ裏書ノミニテ直ニ賣

買シ得ルモノヨアラテハ罪モ亦前條ヨリハ輕キナリ其  
 餘ノ私書ト云フ書類ハ右ノ權利義務アル証書ヨリハ輕  
 キ故更ニ其罰ヲ輕クスルナリ

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ  
 未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

此節ノ犯罪ハ至極性惡シキ惡事ユエ輕罪ノ者ト云ヘテ  
 未遂犯罪ノ例ニ依テ處斷スルナリ

第二百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ  
 處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

此節ノ犯罪ハ至極性惡シキ惡事ユエ輕罪トテモ本文定  
 メノ監視ニ付スルナリ

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病証書ヲ偽造スル罪 凡五條  
 免狀トハ政府ヨリ人民ノ營業又ハ學藝ニ付許可ヲ



與ヘタル書付ヲ云フ即チ版權免許狀、銃獵免狀、官立  
學校卒業免許狀、代言人免許狀ノ類是ナリ鑑札トハ  
政府ヨリ人民ノ職業ヲ開届ケタル手形札ヲ云フ即  
チ牛馬賣買免許鑑札、証券印紙、紙賣捌鑑札、酒造營  
業免許鑑札、賣買營業鑑札ノ類是レナリ疾病証書ト  
ハ病氣ニ付醫師ノ保証シタル書付ヲ云フ即チ診斷  
書、種痘天然痘証、傳染病全快證書ノ類是レナリ

第二百十三條

官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス  
官ヨリ下渡ス免狀鑑札ハ大概皆税金カ手数料ヲ上納シテ願受ル者ニテ之ヲ所持スレハ誰レコトモ勝手ニ營ム

イノ出來キ職業ヲ營ムヲ得テ其職業ニ付テモ相應ノ保護ヲ受クル者ナレハ若シ法ヲ犯シテ贖物ヲ拵ラヘ税金手数料ヲ上納セスシテ勝手ニ營業スル者アルハ正直者ハ、ソレガ爲メニ毎チニ損耗ヲ蒙ルノミナラズ官ノ取締モ缺ル所アルヨリ世間ノ害ヲナスコトモ多カルヘシ、サレバ其贖物ヲ拵ラヘ之ヲ使ヒ用ヒタル者ハ假令ヒ格別ノ利益ハ得ヌモ唯其使ヒ用ヒタルバカリニテ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ又免狀鑑札ニハ孰レモ官ノ朱印カ烙印ノ押シアルモノナレハ偽造ノ節其印マデモ贖物ヲ拵ラヘ又ハ其印ノ眞物ヲ盜ミ出シテ之ヲ押シ用ヒタル者ハ唯免狀鑑札ヲ贖セタル者ト同様ニ罰スヘキコアラシハ此レハ偽造官印ノ各本條ニ引合セテ處斷スルナリ偽造官印ノ刑ハ孰レモ此條ノ刑ヨリ重キニ本文ニハ

免狀鑑札及ヒ疾病証書ヲ偽造スル罪



唯照シテ處斷スト云ヒテ重キニ從テ處斷スト云ハスナリ

第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

屬籍トハ其身ノ人別アル本籍キ云フ身分トハ皇族華族士族平民戸主子弟ナド總テ其身ノ名分ヲ云フ免狀鑑札ハ唯税金手数料ヲ取ラシガタメニ下渡スニアラス其業ノ良否盛衰ヲモ監察スルヲメニ之ニ許可ノ証ヲ與ヘテ他ノ職業ト分ツ者ナレバ税金手数料ハ勿論其監察ヲモ避ガレシガタメニ其身ノ本籍身分姓名ヲ詐リ

人ノ名前ヲ盜ミ又ハ全クノ偽名ヲ稱ヘ其他色々詐偽ノ仕業ヲ以テ官ヲ欺キ免狀鑑札ヲ受クル者ハ第一税金ヲ避ガレ亦監察ヲモ避ガレ其害重キガユエニ其罪モ重キナリサレバ此惡事ハ掛役人ノ取締ニ因テハ隨分防キノ立ツモノニテ前條偽造ノ如クニハ其犯人モ多カラサルベシ又其心底モ偽造ヨリハ優シキモノユエ罰モ、ソレヨリハ輕クスルナリ唯詐稱シタルハカリニテ、マダ其免狀鑑札ヲ受取ラヌ者ハ第二百三十一條身分詐稱ノ條ニ依テ罰セラレ

掛役人ガ詐稱詐僞ト云フヲ承知シツ、之ニ免狀鑑札ヲ下渡ス時ハ已ガ利益ノ爲メナラヌモ其詐僞行ハレ易クシテ其防キモ立テ難ク其情其罪共ニ重キナリ故ニ其免狀鑑札ノ行使サレタルトサレヌトニ拘ハラヌ唯下渡

免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪



シタルバカリニテ人民ノ刑ニ一段ヲ加ヘ十八日以上七箇月十五日以下ノ重禁錮二圓五十錢以上二十五圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二百十五條

公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用

ヒ疾病ノ証書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
醫師囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ証書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

公ケノ務メトテ証人又ハ鑑定人トナルタメニ裁判所ノ呼出ニ應ジテ出頭スヘキ役目ナドヲ免カレシガタメニ  
醫者ノ名ヲカタリテ自親ニ醫者ノ診斷書ヲ捺ラヘ行使トテ之ヲ役所ニ差出スルハ唯其役所ヲ欺キ公務ノ差支

ヲ起スバカリデナク名前ヲカタラシタル醫者ノ迷惑トモナル仕業ユエ此レニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ  
醫者ハ人ノ病氣ヲ診察スルガ本職ナレハ人ノ依頼ヲ受ケテ病氣ニモアラヌ者ヲ病氣ト詐リ診斷書ヲ認メ遣ハス時ハ其詐僞モ行ハレ易ク丁度前條ノ役人ガ免狀ヲ下渡スト同シ鈎合ノ惡事ナレハ怪病ノ本人ヨリハ一段ヲ加ヘ一箇月七日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮三圓七十五錢以上三十七圓五十錢以下ノ罰金ヲ申付ルナリ、サレハ怪病ノ本人ハ其証書ヲ行使セヌルハ前段ノ刑罰ハ受ケス者ユエ之ヲ認メ遣ハシタル醫者ニ於テモ矢張行使ノ後ナラデハ此罰ヲ受ケルヲハナキ者ナリ此麻ダケハ前條ノ役人トハ違フナリ

第二百十六條

陸海軍ノ徵兵ヲ免カル可キ爲メ疾病ノ



證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ  
 徴兵ニ出ルルハ國家守護ノ重役ニテ餘ノ公務トハ同様ナ  
 ラヌヲ我が骨折惜ミヨリ之ヲ免カレントスル者ハ却テ  
 餘ノ公務ヲ免カレントスル者ヨリハ多キユエ之ヲ重ク  
 罰シテ其害ヲ防カサルヘカラス故ニ此條怪病ノ本人并  
 ニ醫者共ニ前條ノ例ニ引合セテ一段ヲ加ヘ本人ハ一箇  
 月七日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮三圓七十五錢以  
 上三十七圓五十錢以下ノ罰金ヲ申付ケ醫者ハ一箇月十  
 五日上一箇年六箇月以下ノ重禁錮四圓五十錢以上四  
 十五圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

**第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シ  
 テ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ**

此條ノ意ハ免狀鑑札并ニ疾病證書ノ眞物ヲ増減變換ス  
 ル例ヘハ遊獵免狀ヲ職獵免狀ト書換ヘ營業期限ヲ延ハ  
 サンタメニ鑑札ノ年月日ヲ改メ病氣診斷書ノ治療期限  
 ヲ延サントメニ全快期ノ月日ヲ増スナド自親ニ文字文  
 言ヲ書改メ之ヲ使ヒ用ヒタル者ハ其害偽造ト同様ナ  
 ハ偽造ノ刑ト同シ第二百十三條以下ノ箇條ニ依テ罰ス  
 ルナリ

**第六節 偽證ノ罪 凡九條**

偽證ノ罪トハ詐偽ノ證據ヲ申述ル惡事ヲ謂フ即チ  
 刑事(陸海軍モ此中ニ在)民事商事行政ナドノ裁判所  
 ニ於テ証人トシテ尋問ヲ受クルニ當リ不實ノ申立  
 タナス者ノ罪ヲ此節ニ定ムルナリ俗世間凡百ノ人  
 事ハ孰レモ正直ナル證據ニ因テ是非善惡ヲ分ツ者



ニテ証據正直ナラヌ時ハ惡事ヲ防キ止ルコトモ叶ハズ惡事ヲ防キ止ルコトノ叶ハヌ時ハ善事ヲ保護スルコトモ叶ハヌナリ惡事ヲ防キ善事ヲ保護スルコトノ叶ハヌ時ハ裁判アリテモ無用ナルベク唯無用ノミニテハ止マズ却テ善ヲ塞キ惡ヲ誘フ道具トモナルベキナレバ裁判ナシテ眞ノ裁判タルヲ得セシメントニハ獨リ正直ナル証據ニ依ルノミ証據ノ公益ニ關スルコト重シト謂フヘシ故ニ此節モ亦公益犯罪ノ部中ニ入レタルナリ

第二百十八條

刑事ニ關スル証人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩蔽シテ偽證ヲ爲シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス  
刑事トハ罪アル人ヲ刑罰ニ行フヲ日途トシタル公事ヲ

謂フ此公事ニ付証據人トシテ裁判所ニ呼出サレタルモノガ尋問ヲ受クルニ當リ被告人(即チ罪人トシテ訴ヘラレタル人)ヲ曲庇ヒテ其罪ヲ免カレ又ハ輕クナラサシガタメコ事實ヲ推隱シテ偽リノ証據ヲ申立タルハ曲庇ハレタル犯罪ノ輕重ニ因リ左ノ例ニ引合セテ處斷スルナリ即チ重罪ハ偽証ノタメニ僅カ一段ヲ誤リテモ死ヌルト生キルトノ差ヒアル程ナレハ此レハ、ヒトキハ重少罰シ輕罪ハ左程ノ差ヒハナキ者ユエ重罪ヨリハ輕少罰シ違警罪ハ些少ノ害ユエ矢張違警罪ノ中ニ於テ罰スル者ナリ

一重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四十圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス



重罪ハ禁獄以上死刑以下ニ當ル罪ナレバ偽証ノタメニ一段ヲ誤リテモ大イナル不當ヲ生スルバカリテナク其中ニハ人殺モアリ火付モアリ強盜モアリ強姦モアリテ孰レモ皆世間ノ公敵トモ謂フベキ者ナレハ之レガ証人タラシ者ハ宜シク正直ノ申立ヲ爲シテ裁判ノ正當ヲ助ク世上ノ害ヲ除クコトヲ心掛クヘキニ左ハセズ却テ其人ヲ曲庇ヒテ詐偽ノ證據ヲ申立ルハ裁判ノ正當ヲ妨ケ世間ノ害ヲモ願ミヌ罪人ナレハ此レニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ナリ

二輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

輕罪ノ偽証ハ重罪ノ偽証ホドニハ重カラヌユニ本文其

罰ヲ任シシタルナリ

三違背罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違背罪ノ本條ニ依テ處斷ス

違背罪ハ元來瑣細ノ惡事ナレハ之ヲ曲庇ウモ左程ノ害ハナキモノユニ此レハ違背罪ノ本條第四百二十五條ノ末段ニ引合セ三口以上十日以下ノ拘留又ハ一圓以上一圓九十五以下ノ科料ヲ申付ケ若シ其偽証ノタメニ被告人ハ刑罰ヲ免カレタル時ハ之ニ一段如ヘテ罰スルナリ

第二百十九條 偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免レタル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

此條ノ意ハ前條偽證ノ爲メニ被告人ガ正當ニ受クヘキ刑ヲ全ク免カレテ放免ヲ受ルカ又ハ少ク免カレテ正當ニヨリハ輕キ仕置ニ行ハル、カシタル時ハ其偽リノ實地



ニ行ハレタル者ナレハ其偽證者ノ刑ハ前條ノ例ニ引合  
 ゼ孰レモ一段ヲ加ヘテ罰スルトナリ例ハ重罪ノ偽證  
 者ナレハ二箇月十五日以上二箇年六箇月以下ノ重禁錮  
 五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ケ輕罪ノ偽證者ナレ  
 ハ一箇月七日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮二圓五十  
 錢以上二十五圓以下ノ罰金ヲ申付ケ違警罪ノ偽証者ナ  
 レハ三日以上十二日以下ノ拘留又ハ一圓二十五錢以上  
 二圓四十錢以下ノ科料ヲ申付ル類ナリ

第二百二十條 被告人ヲ陷害スル爲メ偽證ヲ爲シタル  
 者ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

陷害トハ罪ナキ人ヲ罪ニ陷イレ又ハ輕キ罪ノ人ヲ重キ  
 罪ニ陷イル、チ云フ陷イルレハ其人ヲ害ナフユエ陷害  
 ト謂フナリ此陷害ノ罪ハ前ノ曲庇ノ罪ヨリハ其心底モ

憎ムヘク其害モ多キユエ左ノ罰例モ重ク後ノ第三百五  
 十五條誣告ノ罪ト同刑ニ行フナリ

一重罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五  
 年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金  
 ヲ附加ス

二輕罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月以上二  
 年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金  
 ヲ附加ス

三違警罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一月以上  
 三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金  
 ヲ附加ス

前條違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本  
 條ニ依テ處斷スル法ナレト此條ハ人ヲ罪ニ墮サントス



ル悪事ニテ人ヲ害スル人情外ヅレノ偽證ナレハ本文ノ如ク輕罪ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第二百二十一條

偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條記載ニシタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヲ得ス

前條ノ如ク被告人ヲ罪ニ墮サンガタメニ偽リノ證據ヲ申立タルニ因テ被告人ハ無實ノ罪ニ陷イリ何程カノ刑罰ヲ受ケザランニ其後ニ至リ偽リノ證據ト云フヲ露顯シタル時ハ偽證人ヲ被告人ガ最初受ケタル刑罰通り

ニ行フナリ例ハ輕罪ノ禁錮ニ行ハル、ガ相當ノ被告人ヲ重罪ノ輕懲役ニ墮シタル時ハ偽證人ヲ右ノ輕懲役ニ行フ類此處分ヲ名付ケテ反坐ト云フ若シ又被告人ガ輕キ罪ニ墮サレタルガタメニ反坐ノ刑モ前條ニ書載セアル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ反坐ノ例ヲ用ヒズ又前條ノ偽證人ヲ罰スル例ニ引合ヒテ處斷スルナリ同ハ違警罪ノ罰ヲ受ケルガ相當ノ被告人ヲ四箇月ノ重禁錮ニ墮シタル時ハ偽證人ヲ反坐スレハ此四箇月ノ重禁錮ニテ前條ノ輕罪ニ墮ス爲メニ偽証シタル者ノ刑ヨリハ輕キユニ此時ハ前條ノ六箇月以上二箇年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ申付ル類ナリ  
右ノ如ク罪ニ墮サレタル被告人ガ其任置ヲ受ケタル後ニ露顯シタルデハナク、マダ任置ヲ受ケ居ル期限内ニ其



偽證ノ罪ガ露顯シタル時ハ早速被告人ヲ差免シ偽證人  
 ナ最初被告人ガ申渡サレタル刑罰通りニ處斷スル等ナ  
 レル裁判官ノ見込ニ因テハ被告人ガ現在勤メアゲタル  
 日數ニ引合セテ偽證人反坐ノ期限ヲ其日數マデ減ラシ  
 縮メテモ苦シカラズ例ヘハ輕罪ノ刑罰ヲ受クルガ相當  
 ノ被告人ヲ重罪ノ十二箇年ノ有期徒刑ニ墮シ被告人ガ  
 七箇年ヲ勤メアゲタル後ニ至リ始メテ偽證ノタメト云  
 フガ露顯スレハ偽證者チ右十二年ノ有期徒刑ニ反坐ス  
 ル等ナレハ事情ニ因テハ餘リ重キニ過クルユニ掛リ裁  
 判官ノ見込ヲ以テ偽證者チ被告人ガ勤メタル徒刑七箇  
 年ノ代リニ輕懲役七箇年ニ換ヘテ反坐ノ處分ヲ行フモ  
 苦カラズ類ナリ併シ減ラシテ前條偽證ノ刑罰ヨリ下ニ  
 降タスコトハナラズナリ

第二百二十二條

偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタ  
 ル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セサル前  
 ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス  
 若シ被告人チ死ニ陥ルノ目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタ  
 ル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ  
 發覺シタル時ハ一等ヲ減ス

死刑ニ墮サンホドノ存意ニテハナシ唯重キ罪ニ墮サン  
 トノ存意ヲ以テ偽リノ證據ヲ申立タルニ其證據ノ爲メ  
 ニ圖ラズ被告人ガ死刑ニ行ハレタル時ハ平常ノ反坐ナ  
 レハ偽證者チ死刑ニ行フガ相當ナレハ死刑ハ格別ノ嚴  
 罰ナルヲ偽證ノ爲メニ之レニ行フハ餘リ酷過サヒトスグルユニ  
 反坐ノ刑一段ヲ減シ無期徒刑ニ行フナリ、サレハ右死刑  
 ノ言渡ガ未ダ執行サレズシテ被告人ハ猶ホ存命シテ居



ル時ハ、マダ其偽証ノ全ク實行サレヌ前ナレハ偽証者ヲ  
 右ト同様ニ無期徒刑ニ行フハ是亦酷過クルユニ死刑ヨ  
 リ二段減シテ有期徒刑ニ行フナリ  
 若シ最初ヨリ被告人ヲ死刑ニ墮サントノ存意ヲ以テ偽  
 リノ證據ヲ申立タルニ因リ被告人ハ其存意通りニ已ニ  
 死刑ニ行ハレタル時ハ全ク偽証人ガ其タクミニ因テ殺  
 シタル者ナレハ之ヲ死刑ニ反坐スルナリ、サレヒマダ死  
 刑ヲ執行セスシテ被告人存命ノ時ナレハ偽証人ヲ死刑  
 ニハ反坐セス一段下ノ無期徒刑ニ行フナリ

第二百二十三條

民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽証

ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五  
 圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

民事トハ刑罰ニカ、ハラヌ公事ヲ云フ商事トハ商賣上

ノ公事ヲ云フ行政裁判トハ行政上ニツキ何ニカ差モツ  
 レアル時ノ裁判ヲ云フ此等ノ裁判ハ刑事裁判ノ如クニ  
 直ニ被告人ノ名譽身體ニカ、ルホドノ事柄ニ有ラテハ  
 之ニ就キテ偽リノ證據ヲ申立ルモ何レカ其一方ノ權利  
 テ損スル迄ノコニテ刑事事ノ如クニ大害アル者ニアラズ  
 故ニ其罰モ輕ク又其曲庇陷害ノ區別ヲモ立テズ孰レモ  
 本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第二百二十四條

鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サ

レタル者詐偽ノ陳述ヲ爲シタル時ハ前數條ニ記載シ  
 タル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

此條ノ意ハ醫師化學者ナドニテ物ノ目利スルガタメニ  
 裁判所ニ呼出サレタル者カ又ハ通事トテ言葉ノ通シヌ  
 外國人瘖者<sup>オフツボ</sup>聾者<sup>オフツボ</sup>ナドノ言葉ヤ其意ヲ通スルガタメニ裁



判所ニ呼出サレタル身分ヲ以テ詐偽ノ申立ヲシタル時  
ハ前ノ數條ニ書載セアル偽證ノ例ニ引令セテ處斷スル  
トナリ其處斷ノ仕方ハ詐偽ノ申立ガ被告人ヲ曲庇スル  
爲メナレハ第二百十八條第二百十九條ノ例ニ從ヒ陷害  
ノ爲メナレハ第二百二十條第二百二十一條并ニ第二百  
二十二條ノ例ニ從ヒ民事商事行政ノ裁判ナレハ第二百  
二十三條ノ例ニ從フナリ

第二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ  
偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ亦偽證  
ノ例ニ同シ

其他ノ方法トハ詐欺脅迫利慾威權ノ類ヲ云フ被告人ニ  
セヨ原告人ニセヨ賄賂其外右様ノ仕方ヲ以テ人ニ頼ミ  
偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲサセタル者ハ自親ニ之ヲ犯

シタルト同様ユエ此レモ偽證ト同例ニテ罰スルナリ  
第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其  
事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ  
本刑ヲ免ス

此第六節中ニ書載セアル偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲナ  
シタル者ガ其事件ノ裁判言渡ニ至ラヌ前ニ自親ニ其罪  
ヲ申出タル時ハ其最初偽リヲ言ヒ立タルハ憎ケレヒマ  
ダ其事モ實際ニ行ハレヌ前ニテ自首ノタメニハ裁判モ  
正當ニ復ヘリ被告人モ災難ヲ免カル、ヲ得ルコトユエ之  
ヲ罰シテ自首ノ路ヲ塞ガノヨリハ一時ノ心得違ヲ免ル  
シテ裁判ノ不當被告人ノ災難ヲ免カレタルガ世間ノ爲  
メニモ利益アルユエ總則第八十八條ノ自首ノ常例ニハ  
依ラズ前ノ内亂并ニ偽造貨幣ノ自首ト同ク格別ノ法ヲ



設ケテ至ク其本刑ヲ免スナリ併シ此節ノ罪ハ内亂偽造  
貨幣ノ如クニ危險ナル者ニアラテハ別段監視ニハ行ハ  
ヌナリ

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪 凡四條

度ハ尺<sup>モリヤシ</sup>ナリ量ハ斛<sup>ハク</sup>斗<sup>ト</sup>ナリ衡ハ秤<sup>ハカリ</sup>ナリ度量衡ハ物ノ  
長短多少輕重ヲ量ル大切ノ定規ナレハ之ヲ偽造ス  
ルハ世間ノ信用ヲ害スル罪ノ一トスルナリ

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シ  
タル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上  
五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ  
又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ  
從テ處斷ス

度量衡ハ孰レモ官ノ免許ヲ得テハ製造スルコトナラズ

法ナルコト免許ヲ得ズシテ其贖物ヲ拵テ又ハ其真物ヲ  
得テ尺秤ノ目ヲ盛り直シ枰<sup>ハカリ</sup>ノ線<sup>イシ</sup>鐵<sup>テ</sup>弦<sup>ツル</sup>鐵<sup>ツル</sup>ヲ取替ヘ斗<sup>ト</sup>概<sup>カキ</sup>ヲ  
作リ替ヘ或ハ秤ノ紐ヲ附替ヘルナド總テ具物ノ形<sup>カタ</sup>ヲ變  
ヘ又ハ免許ノ製造人トテモ官ノ檢印ヲ受ケズニ賣出シ  
タラノ者ハ孰レモ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ(偽造變  
造ノミニテ、マダ賣出サヌ前ナレハ禁制物ト云フヲ以テ  
唯其品ヲ取上ケラルベシ)併シ度量衡ニハ孰レモ官ノ檢  
印アルモノナレハ全ク真物ニ贖センガタメニ官ノ記號  
印章ヲ偽造シ、サナクモ之ヲ盜ミ用ヒタル時ハ前ニ出タ  
ル偽造官印ノ各本條ニ引合セテ孰レカ重キ方ニ從テ處  
斷スルナリ例ヘハ產物商品ナドニ用ル官ノ記號印章ヲ  
偽造又ハ使用シタル時ハ偽造官印ガ重キニ第百九十  
六條ノ輕懲役ニ行ヒ若シ書籍什物ニ用ル官ノ記號印章



ヲ偽造又ハ使用シタル時ハ偽造官印ガ煙キユニ此條ノ  
禁錮罰金ヲ申付ル類ナリ

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣  
シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

此條ノ意ハ自親ニ偽造變造ハセズトモ偽造變造ノ不正  
品ト云フヲ知リツ、其度量衡ヲ賣リタル者ハ世間ニ  
其害ヲ布クノ罪重ケルニ自親ニ偽造變造スルヨリハ輕  
キユニ前條ノ刑ニ一段ヲ減シ一箇年六箇月以上三箇年  
九箇月以下ノ重禁錮七圓五十錢以上三十七圓五十錢以  
下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二百二十九條 商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ  
所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二  
圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ  
以テ論ス

商賈、農、工、トハ商賣人、耕作人、職工人ヲ云フ商賣、耕作、職工  
ヲ稼業ト爲シ其稼業向ニ付度量衡ノ入用アル者ガ寸法  
辨目目方ノ定規ヲ増減シタル品ヲ所持スルハ假令ヒ現  
在其品ハ用ヒヌモ孰レカ不正ノ用ナクテハ平常所持ス  
ル譯モナク又何時之ヲ用ルモ計リ難クレハ自親ニ拵テ  
ヘタルト左ナキトニ拘ハラス孰レモ本文ノ禁錮罰金ヲ  
申付ルナリ

若シ又増減シタル度量衡ヲ用ヒタルニ因テ何程カ不正  
ノ利益ヲ得タル者ハ第三百九十二條詐偽取財ノ罪トシ  
テ二箇月以上四箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ



變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

人ノ頼ミヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル職人ハ其賃錢ヲ得ンガタメカ左ナキモ依頼人ホドノ惡心ハナキ者ユエ通常正犯ノ例ヲ用ヒズ依頼人タル正犯ノ受シヘキ刑ニ引合セテ孰レモ一段ヲ減スナリ例ヘハ第二百二十七條ノ犯人ヨリ頼ミヲ受ケタル者ナレハ一箇年六箇月以上三箇年九箇月以下ノ重禁錮七圓五十錢以上三十七圓五十錢以下ノ罰金ヲ申付ケ第二百二十九條ノ犯人ヨリ頼ミヲ受ケタル者ナレハ二十三日以上二箇月八日以下ノ重禁錮一圓五十錢以上十五圓以下ノ罰金ヲ申付ル類ナリ

第八節 身分ヲ詐稱スル罪 凡二條

身分ヲ詐稱スルトハ己ガ身柄ヲ詐ハリ名乗ルヲ云フ即チ平民ノ身柄ヲ持チテ士族ト名乗リ士族ノ身柄ヲ持チテ華族ト名乗リ或ハ平民ト名乗ル類ナリ又本籍姓名年齢職業官位ナド詐リ名乗ルトモ皆此節ノ中ニ掲グルナリ凡ソ人ノ身柄ノ上ニハ孰レモ定マリタル名分アリテ政府モ之ニ依テ支配ヲ爲シ人民モ之ニ依テ交際ヲナス者ナレハ聊カタリヒ虛偽ノ事アルヘカラス若シ此レアルコト於テハ政府ノ支配ノ届カヌハ勿論人民モ亦互ヒノ交際ニ迷フニ至ラン故ニ此節ヲ設ケテ其罪ヲ罰スルナリ

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分氏名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス



人民相互ノ偽名ハ賣買貸借其外約束トモ用ル外ハ唯  
道義ノ上ノ理ノミニテ世間ノ公益ニハ害ナケレトモ之ヲ  
官ニ用ルルハ官ヲ欺ク不埒ノミニテハ止マズ世間ノ公  
益ニモ害アリトイフハ既ニ前ニ説クガ如クナレハ此  
條官署ニ對シテ書面又ハ口上ヲ以テ自身ノ本籍華族士  
族戸主子弟ナド云フ其身ノ名分并ニ姓名年齢職業ヲ詐  
リ名乗リタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ル  
ナリ

第二百三十二條

官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章  
若クハ内外國ノ勳章ヲ僭用シタル者ハ十五日以上二  
月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ  
附加ス

官職トハ役儀職掌ヲ云フ位階トハ三品九位ノ階級ヲ云

フ服飾トハ大禮服或ハ陸軍海軍警察ナドノ衣服ノ飾ヲ  
云フ徽章トハ菊ノ御紋ナドヲ云フ内外國ノ勳章トハ日  
本又ハ外國ノ政府ヨリ勳功アル人へ賞與スル章ヲ云フ  
僭用トハ其品ヲ用フベキ身分ヲ用ルヲ謂フ借役  
儀職掌モナキ身分ニテ公然之レアリト申詐ハリ或ハ官  
ノ服飾徽章勳章ヲ用フベキ身分ヲ用ルハ法ヲ亂  
リ世人ヲ欺ク惡事ニテ前條偽名ノ罪ヨリハ重キユニ假  
令ヒ官署ニ名乗リ出タルニアラズトモ本文ノ禁錮罰金  
ヲ申付ルナリ

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪 凡四條

公選ノ投票トハ公ケノ選舉ヲナス入札ノ議ニテ府  
縣會町村會ノ議員選舉并ニ戸長ノ選舉等ニ用ル者  
ナリ(商社銀行等ノ公選ハ此刑法ノ關セヌ者トス)此



等ノ選舉ハ皆政治上ノ公務ニテ之ヲ偽ルハ政治ヲ亂リ民益ヲ害スル基本ナレバ亦一ノ公益犯罪トモシ者ナリ、サレドモ此レハ政治上ノ犯罪ユエニ前ノ内亂外患ノ輕罪ト同シ定役ナキ輕禁錮ヲ用ヒテ通常ノ公益犯罪トハ區別アルナリ

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

此條ハ前述ノ議員戶長ナド選舉スル時ニ當テ自身又ハ自身ノ最負スル朋友カ親類等ガ其入札多數ノ撰擧ヲ得ンコトヲ望ミ或ハ我が黨派外ノ人、遺恨アル人等ノ當撰ヲ妨ケンガタメニ其入札ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ノ罪ヲ定ムルナリ此入札ノ節ハ別ニ檢査ノ役員アリ

テ夫々取調ヲナス者ナレハ偽造増減ハ容易シ行ハルベキニアラテハ其害トテモ廣カラヌユエ罰モ次條ニ比ブレバ輕キナリ

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲シメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲナシタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

已レノタメカ又ハ他人ノ爲メニ選舉人へ賄賂ヲ贈リテ入札サセ又ハ賄賂ヲ受ケテ入札スルハ其心底モ卑シ其惡事モ目前ノ利慾ダケニ行ハレ易シ前條偽造増減ノ比ナラテハ罰モ夫レヨリハ重ク本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下

公選ノ投票ヲ偽造スル罪



ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 入札ノ規則ニ適シタルカ適サヌカ取調ベ并ニ入札ノ數  
 ナ計ヘテ何某ハ幾枚何某ハ幾十枚ト其多少ヲ分ツ役員  
 ノ身ニテ依怙最負ノタメニ其身ノ役柄ヲモ願ミズ選舉  
 ノ入札ヲ偽造シ又ハ札數ヲ増シ減シスルハ公務ヲ害ス  
 ルヲ重ク其惡事モ行ハレ易キユニ本文ノ如クニ其罰ヲ  
 重クスルナリ

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者  
 其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上五年  
 以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附  
 加ス

入札ノ濟ミタル後ニ撰舉ヲ受ケタル人々ノ名前ト入札  
 ノ數ヲ書面ニ認メ作りテ入札撰舉ノ結局ニナリタルヲ

ヲ其筋ニ申立ル役員ニシテ依怙最負ノタメニ其身ノ役  
 柄ヲモ願ミズ入札數ノ増シ減シヲ爲シ其外詐偽ノ仕業  
 ナナスハ公務ヲ害スルヲ更ニ重ク又調ベ上ゲノ事ナレ  
 バ其惡事モ一層行ハレ易クシテ之ヲ見分ルニモ容易ニ  
 眞偽ヲ知ルベキニアラテハ其罪モ前兩條トハ同シカラ  
 ズ故ニ本文ノ如ク一層其罰ヲ重クスルナリ

第五章 健康ヲ害スル罪

凡六節 二十一條

健康トハ人ノ身體ノ壯健ヲ云フ人ノ身體ノ壯健ハ世間  
 ノ壯健トモ謂フベキ者ニテ人々壯健ナラザレバ世間ノ  
 萬事ハ振ハヌ者ナリ、サレバ此章世間一體ノ壯健ヲ害ス  
 ル種々ノ惡事ヲ掲ゲ罪ニ應ジテ其罰ヲ定ムルナリ今其  
 節目ヲ掲グレバ阿片烟ニ關スル罪、飲料ノ淨水ヲ汚穢ス  
 ル罪、傳染病豫防規則ニ關スル罪、危害品及ヒ健康ヲ害ス



可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪、健康ヲ害ス可キ飲食物  
及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪、私ニ醫業ヲ爲ス罪ノ六類ナリ

第一節 阿片烟ニ關スル罪 凡六條

阿片トハ罌粟ノ汁ヲ採リテ製スル品ニテ烟草ノ如  
ク其烟ヲ吸フニ用ルチ阿片烟ト云フナリ尋常ノ阿  
片ハ藥種ニ用ヒ用方ニ因テハ人ノ健康ニ益アル者  
ナレトモ阿片烟ハ製法ヲ異ニシ之ヲ吸ヘバ大イニ氣  
持ヨキヲ覺エテ復タ止メ難キ程ナレトモ其人身ニ害  
アルヲ殊ニ甚シク血氣次第ニ衰弱ニ赴キ職業ハ愚  
ロカ何事モ手ニ着カヌ程ニ至ルト云ヘリサレバユ  
レチ健康ヲ害スル罪ノ第一ニ掲ケ人身并ニ世間ノ  
壯健ヲ保護スルタメニ重ク其仕業ヲ罰スルモノナ  
リ併シ藥用阿片ハ官ノ許可ヲ得テ製造スルヲ得ル

者ナレハ此節ノ阿片烟トハ違フナリ

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ  
販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

此條ノ意ハ阿片烟ヲ外國ヨリ仕入レテ國內へ持込并ニ  
之ヲ製造スルカ又ハ人ノ外國ヨリ持込或ハ其自親ニ製  
造シタルヲ賣捌キタル者ハタトヒ自親ニ吸フコトナカ  
スモ世間ニ害毒ヲ蔓延サスル根源ナレバ孰レモ十二箇  
年以上十五箇年以下ノ有期徒刑ニ行フトナリ

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及  
ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス

阿片烟ヲ吸フニハ大キナル烟管、阿片ヲ薫ル燈皿ナド夫  
々ノ道具アリテ此レヲテハ吸ヒ食フコトノ出來ヌモノ  
ナレバ其道具ヲ外國ヨリ持込并ニ之ヲ製造シ又ハ之ヲ



賣捌シハ阿片烟ノ流行ヲ助クル者ニテ其罪ハ輕カラテ  
是前條ノ罪ニ比ブレハ大イニ輕重ノ差ヒアリ故ニ夫レ  
ヨリハ二段減シテ輕懲役ニ行フナリ

第二百三十九條 稅關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具  
ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加  
フ

稅關ノ役人ハ總テ外國ヨリノ持込品ヲ改メ見ルガ職掌  
ナレバ阿片烟又ハ其道具ト云フヲ知ラバ直ニ其品ヲ  
取押ヘテ訴ヘ出ルガ當然ナルニ左ハセオ阿片烟并ニ之  
ニ用ル道具ト知リツ、人ノ持込ムヲ見遣ス者ハ政府ノ  
信任ニ背キ世間ノ公益ヲ害スル罪人ナレバ前二條ノ刑  
ニ引合セテ孰レモ一段ヲ加ヘ阿片烟ヲ見遣シタルハ無  
期徒刑ニ行ヒ道具ヲ見遣シタルハ重懲役ニ行フナリ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ

利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス  
人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

阿片烟ハ國家ノ嚴禁物ナレバ禁ヲ犯シテコレヲ吸ヒ食  
ハントスルニハ人目ニ知レヌ屈強ノ場所ヲ得ルガ肝要  
ナルベシ、サレバ之ヲ吸ヒ食フガタメニ部家屋敷ナド貸  
與ヘ賃錢ヲ得テ其身ノ利益ヲ圖ル者ハ之ヲ吸ヒ食フ者  
ニ便利ヲ與ヘテ政府ノ取締ヲ妨グル者ユニ前ノ道具ヲ  
持込ミタル罪ト等シ輕懲役ニ行フナリ  
又人ニ勸メテ阿片烟ヲ吸ハセタル者ハ其蔓延ノ媒ヲ爲  
ス罪アレバ如何ナル存意ニテ勸メタルヲ問ハズ輕懲役  
ニ行フナリ

借本文房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者トアリ故ニ唯其部屋



々敷ナド貸シタルノミニテ別段席料等ノ利益ヲ取ラヌ者ハ此條ノ犯罪ニハ適當セズナリ其譯ハ部屋々敷ヲ貸スニ利ヲ圖ルガタメニスルカ又ハ人ヲ勸メテ之ヲ吸食サスル時ハ政府ノ取締ニ大イナル害ヲ與ヘ又其蔓延ノ媒介ヲナスコトモ大イナルユニ本文之ヲ以テ重罪ト爲シ次條ノ自親ニ吸食スル者ヨリモ却テ嚴重ニ罰スル次第ナレハ利益ヲ圖ラズ懇意ツクニテ貸シタル類ハ此條ニ適當スル者ニアラズ此類ハ總則第百九條重罪輕罪ヲ犯スコトヲ知テ器具ヲ給與シ云々正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減スト云フニ依リ次條吸食者ノ刑ニ一段減シテ罰スベキナリ是レ本文ニ殊更利ヲ圖ル者ト入レタル譯ニテ斯クセハ其鈞合ニ於テモ聊カ不都合ハナカルベキカ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

自身ニ製造又ハ輸入ハセズ他人ノ製造輸入シタル阿片烟ヲ吸ヒ食フ者ハ追々蔓延ノ口開キヲナスモノナレハ二箇年以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

阿片烟并ニ吸食ノ道具ハ孰レモ國家ノ嚴禁スル品物ナルニ、ソレヲ恐レズ竊ニ所持ヲナス者ハ自親ニ吸フカ左ナシバ人ニ吸ハスタメナルカノ疑ヒアリ又受寄トテ人ノ寄セ越シタルヲ預リ置クモ其犯罪ヲ助クル者ナレハ現在自親ニ吸フタルコトハアラヌモ其所持ト受寄ノ仕業ノミニテ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

阿片烟ニ關スル罪



第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪 凡三條

飲料ノ淨水トハ人ノ飲料トシタル泉流、川、池、井戸ナ  
ドノ總テ清潔ナル水ヲ云フ汚穢スルトハ死屍、糞尿、  
廢芥并ニ人ノ壯健ヲ害スルホドノ品物ヲ其水中ニ  
投ケ入レテ飲ムコトノ出來ヌヤウニスルヲ謂フ

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ  
之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ十一日以  
上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金  
ヲ附加ス

人ノ飲料ニ供フル清水即チ井ノ水并ニ上水ナドハ大概  
皆衆人ノ共同シテ汲取ルモノナレバ之ニ妨害ヲ加フル  
時ハ其害一二人ノ上ニ止マラズ甚シキハ千万人ノ難澁  
ヲモ起ス者ナレバ之ヲ汚レテ飲料ニ用フルコトノ出來ヌ

迄ニ至ラセタル者ハ其事ノ如何ナル存意ニ出タルヲ問  
ハズ皆本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水  
質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下  
ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
前條ノ罪ハ唯飲水ヲ不潔ニシタル迄ノ仕業ナレド此條  
ノ罪ハ人ノ壯健ヲ害ス可キ品物ヲ故意人ノ飲水ニ投入  
シ其水ノ性質ヲ變ラセ又ハ腐ラセタル仕業ナレバ實際  
人ノ壯健ヲ害スルコトモ有ルヘキニ其罰モ前條ヨリハ  
重キ者ナリ

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死  
ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ  
處斷ス

飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪



此條ノ意ハ前條人ノ壯健ヲ害スベキ品物ヲ用ヒテ水ノ性質ヲ變ラズルカ又ハ腐敗サスル罪ヲ犯シテ、シレガタメニ飲ミタル人へ病氣ヲ起サセ又ハ病死ニ至ラセタル者ハ後ノ第三百一條ノ歐打創傷トテ人ヲ打ナテ疵負ハセタル罪ノ箇條ニ引合セ前條ト其條ト孰レカ重キ方ニ從テ處斷スルトナリ例ハ人ヲ二十日以上ノ間病氣ニカ、ラセタル時ハ第三百一條ニ引合スレバ一箇年以上三箇年以下ノ重禁錮ニテ前條ノ禁錮罰金ヨリハ重キユニ此レニ從ツテ處斷ヲナシ其病氣ガ二十日以上ニ至ラヌ時ハ第三百一條ノ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮ヨリハ前條ノ禁錮罰金ガ重キユニ前條ノ方ニ從テ處斷スル類ナリ

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪 凡四條

傳染病トハ人類畜類ノ差別ナク總テ同類ニ移リ傳ハル病氣ヲ云フ即チ痘瘡、虎列刺、腸窒、扶私、赤痢、牛疫ノ類ナリ斯様ノ流行病アル時カチテ設ケ置カル、豫防ノ規則又ハ其節觸レ出シノ規則ニ背キテ我儘勝手ノ行ヒチナス時ハ病勢蔓延ノ媒トナリ人畜一般ノ禍ヲモ醸スナレバ健康取締ノ上ニ在リテハ是非ニ其罰ナカルベカラズ故ニ此節ヲ設ケテ規則違背ノ犯罪ヲ罰スルナリ、サレド此節ノ犯罪ハ全ク人ノ相像ニ因テ其害ヲ量ル者ニテ何某ガ規則ニ違背シタルガ爲メニ其毒ガ儘ニ何某ニ傳ハリタルト云フコトハ明カナラズ又實際少シモ人ニ移ラヌモノモアルベクシテ外ノ犯罪ノ如クニ十人ガ十人マデ其害ヲ目前ニ見ルヲ得ベキモノコアラテハ之ヲ罰ス



ルニモ外ノ犯罪ヨリハ輕ク取扱ヒ定役ナキ輕禁錮  
カ又ハ罰金ヲ用ルナリ

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違  
背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬  
シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二  
十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

虎列刺牛疫ナド病勢猛クキ流行病アル時ニハ外國内國  
ノ差別ナク流行ノ港ヨリ流行セヌ港ニ入來ル船舶ヲ檢  
査スルコアリテ檢査ノ上消毒法ヲ行ヒ仍ホ豫防規則ニ  
依テ何程カノ時間乗客ノ上陸ト荷物ノ陸揚ケヲ差止ル  
コアリ是レハ船中ニ病人アル時ハ勿論假令之レ無クモ  
船中ニ病毒アルベシトノ見込ニ因テ夫々ノ消毒ヲ行ヒ  
病毒ヲ除キ去ルタメナレハ若シ豫防ノ規則ニ背キテ、

マ其消毒ノ濟マヌ中ニ妄リニ上陸ヲ爲シ又ハ船中ノ品  
物ヲ妄リニ陸地ニ運ビアグルルハ夫レガタメニ病毒傳  
染ノ恐レアリテ世間一般ノ健康ニ害アルニ此レコハ  
本文ノ禁錮カ左ナクハ罰金ヲ申付ルナリ斯ク輕禁錮又  
ハ罰金ヲ申ツルコト定メタル譯ハ、ステニ前ニ述ベタ  
ル如ク此節ノ犯罪ハ事情酌量ルベキ者ナルニ因リ裁判  
官ニ於テ其事情ヲ取糾シ事情ノ輕重其人ノ貧富ニ因テ  
禁錮ナリ罰金ナリ孰レカ一方ヲ申付ルコト定メタルナ  
リ

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯  
スコトヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

船長ハ其船一體ノ頭取ニテ船中ノ萬事萬端皆其人ノ支  
配スル所ロニテ乗組ノ客ト雖モ船中ノ取締向ニ於テハ



其人ノ指圖ニ從ハテバナラヌ者ナリ斯ク重キ權力ヲ持  
テル船長ノ身トシテ却テ自親ニ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人  
ノ犯則スル者アル時ニ之ヲ差止ルコトハナサデ犯則人ノ  
スルガ儘ニサセ置ク片ハ唯職務ニ背ク罪ノミナラズ其  
人ノ犯罪モ行ハレ易ク其害モ多キユエ斯様ノ船長ハ前  
條ノ刑罰ニ一段ヲ加ヘ一箇月七日以上一箇年三箇月以  
下ノ輕禁錮カ左ナクハ二十五圓以上二百五十圓以下ノ  
罰金ヲ申付ルナリ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ  
流行地方ヨリ他所ニ出タル者ハ十五日以上六月以下  
ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス  
傳染病ノ流行スル時ニハ前々條ノ如ク船舶ノ取締ノミ  
ニ限ラズ陸地ノ取締モ肝要ニテ流行ノ地ヨリ外ノ場所

へ赴クモノハ其地ノ出口山口ニ於テ警察役人ノ検査ス  
ルコトアル者ナリ然ルチ其規則ニ背キテ流行ノ地方ヨリ  
外ノ場所ニ出ル者ハ前々條ノ流行ノ港ヨリ外ノ港へ上  
陸スルト同様ナレモ陸地ノ取締ハ海岸ノ廣漠トシテ防  
キ難キガ如クナラチハ犯則ノ者モ夫レニ比ブレバ餘程  
少ク隨テ其害モ多カラヌユエ此條陸地ノ犯則ハ前々條  
海岸ノ犯則ヨリハ輕ク全ク其半分ホドノ刑罰ニ行フ者  
ナリ

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違  
背シテ獸類ヲ他所ニ出シタル者ハ十一日以上二月以  
下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ  
處ス

獸類ノ傳染病トハ牛馬羊豚類ニ流行スル惡病ニテ牛疫



ノ類ヲ云フ獸類傳染病ノ豫防規則ニ違背スルハ人類傳染病ノ豫防規則ニ違背スルヨリ輕カルベキハ申ス迄モナキコトナレバ刑罰モ夫レニ比ブレハ輕キモノナリ

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪 凡三條

危害品トハ人ノ身體ニ危險損害アル品物ニテ銃砲彈藥、雷管、地雷火、石炭油、摺附木、瓦斯ノ類ヲ云フ健康ヲ害スベキ物品トハ草製造、魚油製造、其外總テ惡シキ臭又ハ毒氣アリテ人ノ壯健ニ害アル品物ヲ云フ斯様ノ品物ハ官ニテ製造ノ場所柄ニ因リ別格ノ規則ヲ以テ營業ヲ差許ス者ナルニ若シ官許ヲ得ズシテ妄リニ製造ヲ爲スニ於テハ官ノ取締立タズ人民ノ迷惑モ少カラザルニ因リ違犯ノ者ハ皆此節ノ簡

條ニ依テ罰スルナリ其罰例ハ前條ノ例ト違ヒ唯罰金ノミ用ルナリ其譯ハ此節數條ノ犯罪ハ孰レモ營業ノタメナレハ之ヲ罰スルニモ亦金ヲ取上グルヲ適當ナリトシタルガ故ナリ

第二百五十條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

官ノ免許ヲ受ケズシテハ其品ノ製造所ヲ新タニ取設ルヲ許サズ規則アル火藥、石炭油、摺附木、瓦斯類其外總テ人身ニ危害アルベキ品物ノ製造所ヲ取設ケタル者ハ本文前段ノ罰金ヲ申付ルナリ

危害品及ヒ健康ヲ害スヘキ物品製造ノ規則ニ關スル罪



若シ又人身ニ危害ハナクハ臭氣アリテ壯健ニ害アルベキ葦、魚油ナドノ製造所ヲ官許ヲ受ケスニ取設ケタル者ハ前段ノ危害品製造所ヲ取設ケタルヨリハ輕キユニ此レニハ其半高ノ罰金即チ本文後段ノ通申付ルナリ

第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

假令ヒ官ノ免許ヲ得テ前條記載ノ製造所ヲ設ケタルニセヨ斯様ノ製造ニハ夫々取締ノ規則アリテ危害ヲ防キ壯健ノ害ナキヤウニスルモノナルニ、ソレニ背キテ惡シキ仕業アリタルモノハ前條ノ例ニ引合セテ一段ヲ減シ危害ノ品ナレバ十五圓以上百五十圓以下ノ罰金ヲ申付ケ健康ヲ害スル品ナレバ七圓五十圓以上七十五圓以下

ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

前二條ノ罪ヲ犯シ、ソレニ因テ人ヲ病氣又ハ死亡怪我ニ至ラセタル時ハ後ノ第三百十七條ヨリ同十九條マデノ過失殺傷ノ各條ニ引合セ孰レカ重キ方ニ處斷スルナリ例ハハ健康ニ害アル品ノ製造所ヲ無免許ニテ取設ケ又ハ免許ヲ受クルモ規則ヲ守ラズシテ、ソレガタシニ人ヲ死亡ニ至ラセタル時ハ第三百十七條過失殺傷ノ本條ニ引合ハス。コト二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ストアリテ前々條ノ罰金ヨリハ重キユニ此時ハ過失殺傷ノ方ニ從ヒ又危害アル品ノ製造ニ付人ヲ癩疾篤疾ニ至ラセタル時



ハ第三百十八條過失傷ノ本條ニ引合ハスニ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ストアリテ前條ノ罰金ヨリハ輕キニ此時ハ前條ニ從テ處斷スル類ナリ

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪 凡三條

本文ノ飲食物トハ洋紅、ベレンス、其外毒氣アル繪具ニテ色着ク或ハ腐リ酸タル飲食物ナドヲ云フ藥劑トハ藥用附片、鼠取藥、其外毒藥劇藥ノ藥種又ハ調合藥ヲ云フ  
第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

洋紅、ベレンス、ナド人ノ壯健ニ毒アル品物ヲ菓子其外ノ飲食物ニ混和或ハ腐リタルモノヲ之レニ混ゼナドシテ

賣捌キタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ是レハ人ヲ殺シ人ヲ惱マス目途アリテスルニアラス唯價ノ賤キ繪具ヲ以テ金賭クヲサントノ心ヨリ出タル者ナレバ前ノ第二百四十四條ノ故意人ヲ害センコトニ健康ニ害アル品物ヲ以テ飲水ノ性質ヲ變ヘル類トハ同シカラズ故ニ本文ノ如ク唯罰金ノミ申付ケ若シ其毒ノタメニ人ヲ殺シ又ハ病氣ニ至ラセタルモノモ第二百四十五條ノ如ク毆打創傷ノ本條ニ依テハ罰セズ過失殺傷ノ本條ニ依テ罰シ其品ハ總則第四十三條ニ依テ取上ルナリ

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス  
凡ソ毒藥劇藥ヲ賣捌クニハ夫々取締ノ規則アリテ安リ



ニ賣出スヲ許サズモノナリ然ルヲ其規則ニ背キテ例ハ  
ハ藥種屋ニテ醫師ノ保証書ナキ者ニ石炭酸ヲ賣渡シ司  
藥場ニテ印紙ナキ毒藥ヲ賣捌クナド危險ノ取扱アルモ  
ノハ孰レモ本文ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二百五十五條

前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ  
死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從  
テ處斷ス

前二條ノ犯罪ハ孰レモ少シノ利ヲ惜ムカ又ハ取扱ノ疎  
忽ニ出ル仕業ニテ固ヨリ人ヲ殺シ人ヲ惱マサントノ目  
途アリテシタルニアラテハソレガヲメニ人ニ病氣ヲ起  
サセ又ハ死亡サセタル者ハ第三百十七條以下ノ過失殺  
傷ノ本條ニ引合セ孰レカ重キ方ニ處斷スルナリ例ハ  
壯健ニ害アル品物ヲ飲食物ニ混ゼテ賣捌キ爲メニ人ヲ

死亡ニ至ラセタル時ハ第三百十七條ノ二十圓以上二百  
圓以下ノ罰金ガ重キニ之ニ從テ處斷シ又規則ニ背キ  
テ毒藥劇藥ヲ賣捌クニ因テ人ニ病氣ヲ起サセタル時ハ  
第三百十九條ニハ二圓以上五十五圓以下トアリテ前條  
ノ十圓以上百圓以下ノ罰金ガ重キニ之ニ從テ處斷ス  
ル類ナリ

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪 凡二條

此節ハ官ノ免許ヲ受ケズニ内々醫者職業ヲナスモ  
ノ、罪ヲ定ムルナリ凡ソ醫者ノ職業ハ人ノ生命ヲ  
預カル大切ノ仕事ナレバ豫テ嚴重ノ規則アリテ  
試験ノ上コレニ免許ヲ與フル者ナリ然ルヲ其免許  
ヲ受ケズシテ妄リニ人ノ生命ニヒキ下スハ誠ニ  
危險キ仕業ナレバ此仕業アリタル者ハ孰レモ下ノ



條々ニテ罰スル

第二百五十六條 官許ヲ得シテ醫業ヲ爲シタル者ハ  
十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

此條ノ意ハ醫者ハ官許ヲ受ケテハ爲ルノナラズ規則  
ナルニ、ソレニ背キテ其筋ヘモ願ハズ内々醫業ヲ營ミ諸  
人ノ求ニ應シテ藥ヲ盛リ遣ハス者ハ假令相應ノ力量ア  
リテ人ニ迷惑ハ掛ケヌモ無免許ノ仕業ノミヨテ十圓以  
上百圓以下ノ罰金ヲ申付ルトナリ

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人  
ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キ  
ニ從テ處斷ス

此條ノ意ハ前條無免許ニテ醫業ヲ爲スモノガ若シ療治  
ノ仕方ヲ誤リヒ加減カ刃物ノ使ヒ方ニ因テ人ヲ死ナシ

國ハイタマセタルハ是亦惡心アリテ爲タルコハアラス  
シテ全ク醫術ノ拙キヨリ出タル不調法ナレバ過失殺傷  
ノ箇條ニ引合セテ孰レカ重キ方ニ處斷スルトナリ例ヘ  
ハ人ヲ死ナシタルハ第三百十七條ガ重キユニ二十圓以  
上二百圓以下ノ罰金ヲ申付ケ又人ヲ痛マセ病氣ニ罹ラ  
セタルハ前條ノ方ガ重キユニ十圓以上百圓以下ノ罰金  
ヲ申付ルト云フ

第六章 風俗ヲ害スル罪 凡六條

風俗トハ世間一般ノ風習風儀ヲ云フ凡ソ世間ノ風習風  
儀ハ先ヅ一人二人ノ破ルニ因テ次第ニ廣マリ終非ニハ  
世間一般ノ習ヒトナリテ良民ハ難繼チナシ國力ハ衰微ニ  
赴キ追々ハ騒亂ノ基トモナル者ナレバ此章ニテ表向キ  
振リガマシキ所行即チ博奕、富、其外神社佛堂ニ無禮ヲ加



ヘタル者ノ罪ヲ罰シテ世間ノ風俗ヲ保護スルモノナリ  
第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ三圓  
以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

此條ノ意ハ表向衆人ノ見ル前ニテ淫事ヲ爲シ又ハ淫部  
ヲ顯ハスナド總テ人ノ見テ居レヌホドノ猥褻ノ振舞ア  
ル者ハ世間ノ風俗ヲ害スルノ罪アルナレバ此レニハ三  
圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付ルトナリ

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他猥褻ノ物  
品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓  
以下ノ罰金ニ處ス

風俗ヲ害スル冊子圖畫トハ淫事ヲ書記シタル草紙春畫  
ノ類ヲ云フ猥褻ノ物品トハ男女ノ陰部ノ形ヲ作りタル  
品物ノ類ヲ云フ斯様ノ品ヲ表向人ノ見ル場所ニ陳列置

キ又ハ表向賣捌キスル者ハ禁制ヲ破リ風俗ヲ亂ル罪ア  
リテ書物類ダケニ衆人ノ目ニ入り易キノミナラス其手  
ニモ傳ハリ易クシテ前條ノ如ク人々打寄ルカ又ハ自親  
ユテ猥リガマシキヲナスヨリハ犯シ易ク且多クハ利  
慾ノタメニスル者ナレハ其罪モ重キユエ此レニハ本文  
ノ罰金ヲ申付ルナリ、サレドモ前條以下就レモ公然ノ二字  
ヲ殊更條文中ニ加ヘアルニ據ンバ人ノ見ルベキ場所デ  
ナクシテ猥褻ノ事ヲ行ヒタル者一人二人ノ者が見咎メ又  
ハ内々其品ヲ賣リタルナドハ皆此條ニハ觸レヌ者ナリ  
第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招  
結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓  
以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

博奕ハ運任セノ勝負事ヲテ身體ヲ使ハズ居坐リ乍ラ多



分ノ金錢ヲ得ントスル道ナラヌ仕業ナルノミナラズ夫  
 レガタメニハ正路ノ稼業ヲ怠リ放蕩ニ陥イリ家産ヲ破  
 ルナド世間ニ其例少ナカラズシテ甚ダ風俗ニ害アル者  
 ナリ故ニ假令ヒ自親ニ博奕ハウタヌモ賭場ヲ設ケテ人  
 ニ貸與ヘ何程カノ割合カ席料ヲ収メテ利益ヲ圖リ或ハ  
 博徒ヲ招キ寄セテ仲間ヲ結ビタル者ハ表向内証ノ差別  
 ナク又現ニ行フト前ニ行フタルトノ差別ナク孰レモ本  
 文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ  
**第二百六十一條** 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者  
 ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓  
 以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者  
 亦同シ但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス  
 賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

財物ヲ賭シテトハ金錢ハ勿論衣類器物ナドヲカケテト  
 云フ義ナリ金錢衣類器物ナドヲカケテ現在博奕ヲ爲シ  
 タル者ハ禁制ヲ犯シ風俗ヲ破ル罪人ナレバ此レハ自己  
 銘々ノ犯罪ニテ前條ノ如ク衆人ヲ招キ又ハ之ニ便利ヲ  
 與ル罪ヨリハ輕キユエ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ケ博奕ノ  
 タメト知リテ部屋屋敷ヲ貸與ヘ別段利益ヲ貪ラヌ者ハ  
 現行非現行ニ拘ハラズ博奕者ト同様ノ刑ニ行フナリ併  
 シ金錢衣類器物ナドカケタルニ非ズシテ菓子酒類ノ即  
 座ニ飲食スベキ品物ヲカケテ一時慰ミニシタル者ハ別  
 段風俗ノ害トモナラズ家産ヲ破ルノ恐レモ無ケレバ此  
 レハ刑罰ヲ申付ル限リニハアラヌナリ  
 博奕ノ道具并ニ之ニカケタル金錢衣類器物ノ類ハ禁制  
 ナ犯スニ用ヒタル品物ナレバ其者ノ懷中ニ在ル分ハ之